

2021年度 challenge奨学金 春学期受給者

ページ	氏名	学部	回生	テーマ
P.1	馬 銘悦	産業社会学部	1	若者がヴィーガンについて関心をもち始めるきっかけをつくる。
P.10	森本 陽加里	産業社会学部	1	学校内で発達障害児一人一人にあった支援を実現するためのアプリ「Focus on」作成・リリース
P.20	川上 友聖	産業社会学部	2	オープンリソースと地域資源を活用した「総合の探究の時間」の年間カリキュラムモデルを作成・検証する
P.27	新山 大河	産業社会学部	4	「ライブハウスとコロナウイルスー音楽産業におけるコロナウイルスの影響ー」
P.37	SHIRAHIGE Barbara Kawane	国際関係学部	4	動画等のコンテンツを通して南米の人に日本語学習の機会や日本文化を広める
P.47	奥田 七海	文学部	4	ムスリムフレンドリーな京都へ ～ムスリム向けサイトの運営＆飲食店・宿泊施設を対象にムスリム対応の支援～
P.52	松川 ひかり	文学部	4	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で貧困している女性に対して生理用品の無料支給
P.58	赤井 秀多	映像学部	2	身近なものでありながら、認識にくいものであるLGBTを受け入れるべきだという姿勢を発信したい
P.64	竹田 菜々華	映像学部	2	移行行く世の中でどう生きるべきなのかを「食人」を通して伝えるドラマの制作
P.71	多田 圭吾	映像学部	3	オンラインでクリエイティブを学べる学校「Creative College（クリエイティブカレッジ）」の運営
P.79	石田 康太	映像学部	4	欧米諸国のアジア人差別とアジア内の人種差別を提起、認知化、改善化するドキュメンタリー実験映像制作
P.88	三宅 樹子	映像学部	4	「推し」がいるからこそ人生に及ぼしている影響についての考察・番組制作（卒業研究）
P.95	岡田 拓真	理工学部	2	エスプレッソマシンの電子化及び、エスプレッソの乳化のプロセスを解明し安価に実現する。
P.105	片岡 花乃	食マネジメント学部	1	食マネジメント学部と北海道十勝をつなぐ架け橋になる
P.111	鈴木 実来	食マネジメント学部	2	大学におけるプラントベースの認知度を向上させ、食のバリアフリー化とサステナブルな選択の普及を目指す
P.122	安本 沙羅	食マネジメント学部	2	動画で普段の食の選択の幅を広げる。
P.132	香川 友希	食マネジメント学部	3	食用昆虫養殖の半自動化
P.138	松本 愛梨	食マネジメント学部	3	アートを通じてありのままを表現し、人と人の優しい時間を創造する。
P.142	坂本 匠	情報理工学部	1	WebRTCでのビデオチャットを用いた誰もが利用できる交流サービス
P.149	本多 峰之	情報理工学部	1	ゲーム感覚で株式投資が学べる実践的な学習アプリの開発運用を行う
P.158	小林 雅史	情報理工学部	2	コロナ渦における在宅時間、オンライン授業時間増加に対して、一日の時間の使い方を提案するアプリ開発。
P.167	坪倉 奏太	情報理工学部	4	情報技術、特に画像処理や機械学習を用いた科学実験データの有効化による新機能創成、社会の持続可能性向上
P.177	坪山 智香	生命科学部	3	若者が気軽に農業を実践することのできるプラットフォームをつくる
P.185	隅田 雪乃	生命科学部	4	麦ストローの商品開発と販売を滋賀の農家さんを行い、プラスチックごみ問題の解決と地域活性化に貢献します
P.195	川村 幸生	薬学部	5	日本の医療問題を、スーパーフードの普及による人々のヘルスケア意識向上によって解決する
P.202	山崎 エンヒ	スポーツ健康科学部	2	研究活動～第44回日本分子生物学会年会における研究成果の発表および国際学術雑誌への論文投稿
P.207	田原 鷹優	スポーツ健康科学部	3	大学野球選手における選手と指導者の視点を統合したテラーメイドパフォーマンス管理システムの独自開発
P.218	山口 美優子	スポーツ健康科学部	3	アスリートの競技力向上や人々の健康増進に資する新規性の高い低酸素トレーニングの考案
P.225	藤枝 樹亜	経営学部	1	「車いすでもカフェに行こう」京都のバリアフリーなカフェ・レストランの発見と情報の提供
P.231	秋森 晃希	経営学部	3	ご当地コーラで地域活性化/地域ブランドの創出 ～コーラで地域課題を解決し新たな市場へ～
P.238	坂口 大晟	経営学部	3	TOEIC・TOEFLのスコアを短期間で大きく上げる勉強方法や教材の紹介を行う団体を作る。
P.245	川端 航平	経営学部	3	NoCodeを用いたプロ並のサイト作成スキルが身につく無料講座の開催
P.251	壽福 千尋	総合心理学部	4	「大学生の性教育」避妊具コンドームの魅力を届け、正しい避妊・性感染症予防を改めて学ぼう！
P.258	DAFFA Afiz Habibillah	政策科学部	3	Creating Semi-Fictional Illustrated Novel for The Younger Generation on the Topic of Climate Change, Sustainable Development Goals, Environmental Issues and Opportunities, Women Empowerment in Climate Justice, and Healthy Ecosystem in Indonesia
P.268	GUO Jingyao	政策科学部	3	Promotion of people's pro-environmental behavior in Osaka by analyzing influential determinants affected by living distance to Yodo river towards plastic waste problem in Japan
P.278	福本 もあ	グローバル教養学部	2	Charity food-drive (a volunteering campaign run by the student body to gather packaged food products) to serve needy students severely affected by the economic recession that followed after the COVID-19 pandemic.

活動テーマ

若者がヴィーガンに興味をもち始めるきっかけをつくる

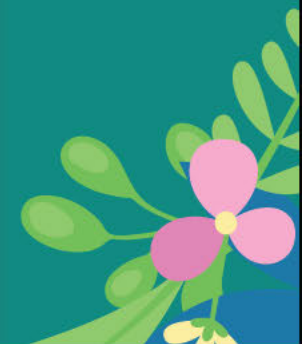
産業社会学部 1回生 馬銘悦





目次

1. これまでの活動
2. 第1回ヴィーガンイベント
3. 第2回ヴィーガンイベント



これまでの活動

2021年7月～8月

生協へヴィーガン
イベントの企画提案

9月13日～9月17日

第1回
ヴィーガンイベントの開催

11月29日～12月3日

第2回
ヴィーガンイベントの開催

ヴィーガンスイーツ
試食会の開催

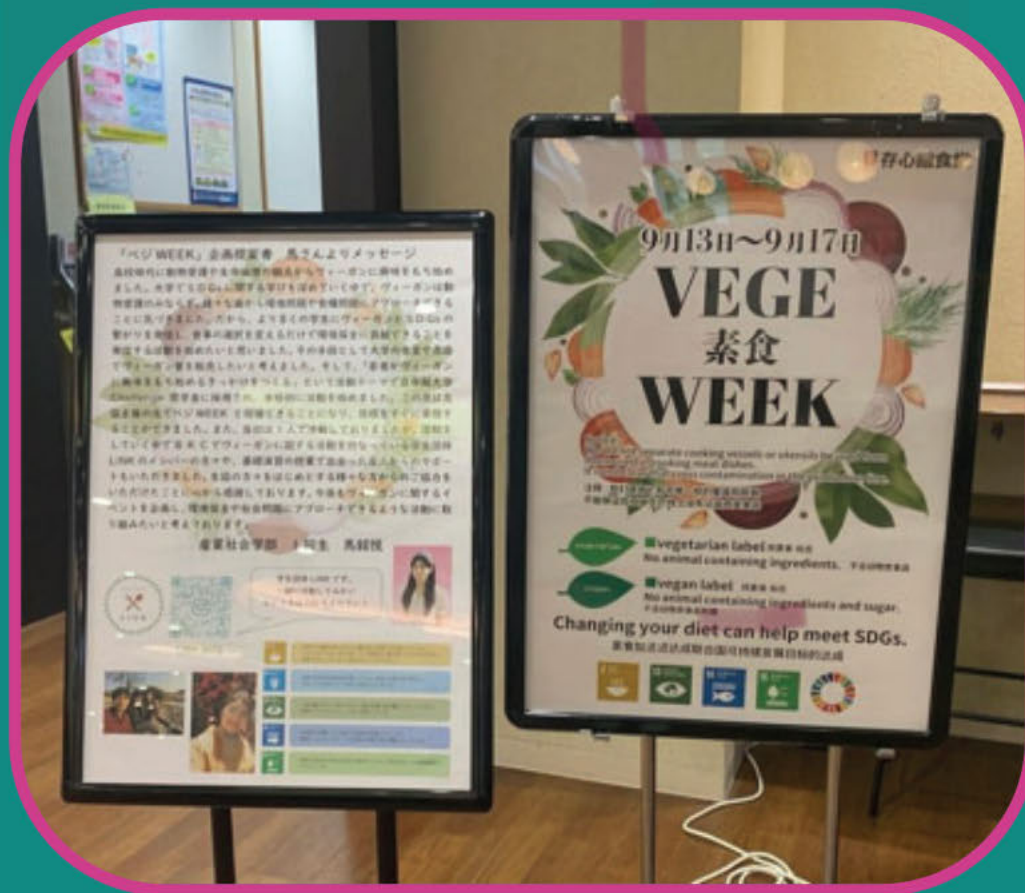
第1回ヴィーガンイベント

2021年9月13日～9月17日
衣笠キャンパス 存心館食堂で開催

立命館大学の学部生・大学院生・
教職員、外部の方々を合わせ、
約2,700名の方がヴィーガン
メニューを利用しました。



第1回ヴィーガンイベント



学生団体LiNKの方々から
ご協力をいただきました。

第1回ヴィーガンイベント

いただいたコメントの一部



アンケートを実施

菜食主義者ではないですが、たまにはこのようなメニューにして、体や地球に良い食事をするのも良いなぁと思いました！

メニューカードの表記が印刷が小さくかなりわかりにくかった。

留学生が多い立命館にとってヴィーガンメニューの導入はたくさんの方が待ち望んでいたものだと思います。

第2回ヴィーガンイベント

2021年11月29日～12月3日
衣笠キャンパス 存心館食堂・諒友館食堂・
至徳館ショップで開催



第2回ヴィーガンイベント

素食
VEGE WEEK
11月29日(月)~12月3日(金)
存心館食堂/至徳館ショップ

焼き菓子Bell.x立命館生協x馬路院

Plant based
卵・乳製品・白砂糖不使用
Gluten free
小麦粉不使用

**ヴィーガン
スイーツ**

おブラウニー
Vegan Brownies ¥250

食べてシェア!
#学食でヴィーガン

vegan

素食
VEGE WEEK
11月29日(月)~12月3日(金)
存心館食堂/至徳館ショップ

卵・乳製品・白砂糖不使用
Plant based
小麦粉不使用
Gluten free

**ヴィーガン
マフィン**
Vegan Muffin

抹茶・チョコ・バナナ味

250円

食べてシェア!
#学食でヴィーガン

vegan

第2回ヴィーガンイベント



2日で完売しました。。。



【Focus on】Challenge奨学金報告資料

立命館大学産業社会学部1回生
森本陽加里（もりもとひかり）

活動テーマ

学校内で発達障害児一人一人にあった支援を実現するためのアプリ「Focus on」開発・リリース

活動目的

- ・自分のような発達障害児の「生きづらさ」の解消
- ・発達障害児への支援について、関係者が過度の負担を感じずに試行錯誤できる環境の実現

- ✓ いつでも・どこへでも特性・支援履歴を持っていける！
- ✓ 支援者間の“情報共有”を円滑に
- ✓ 当事者と共につくる支援

Focus on

立命館大学1年 森本 陽加里
監修 立命館大学 青山芳文教授



活動内容

①プロトタイプ開発

- ・個人カルテ機能(11人に試験利用/3人にヒアリング)
- ・専門家のチェック

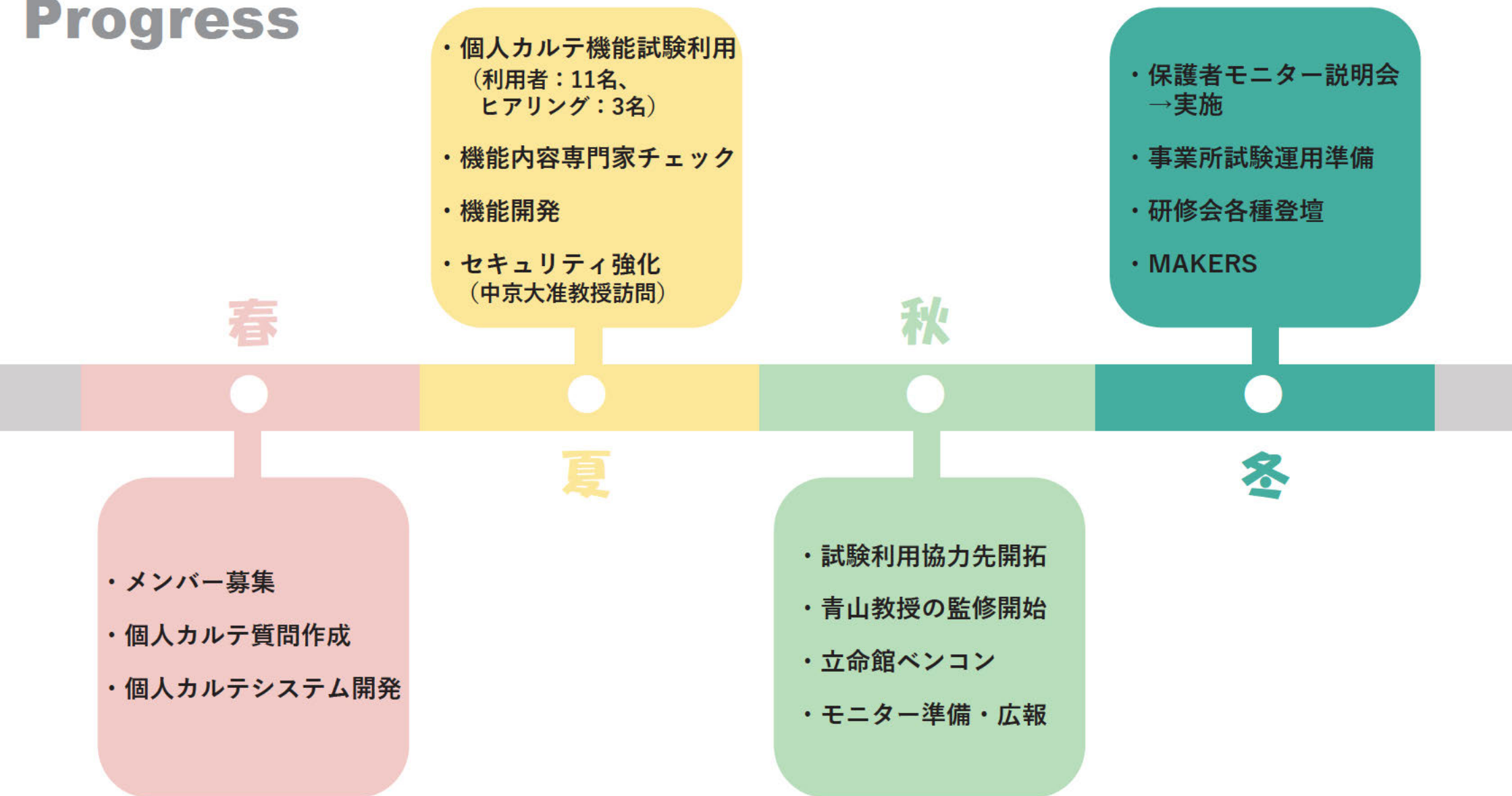
②試験運用先開拓/実施

- ・営業
(事業所/発達障害者支援センター等(広告・紹介)
/自治体(検討中))
- ・広報活動(講演活動等)
(発達支援研究所・一宮市自立支援協議会)

③その他

- ・ビジコン/MAKERS/監修等

Progress



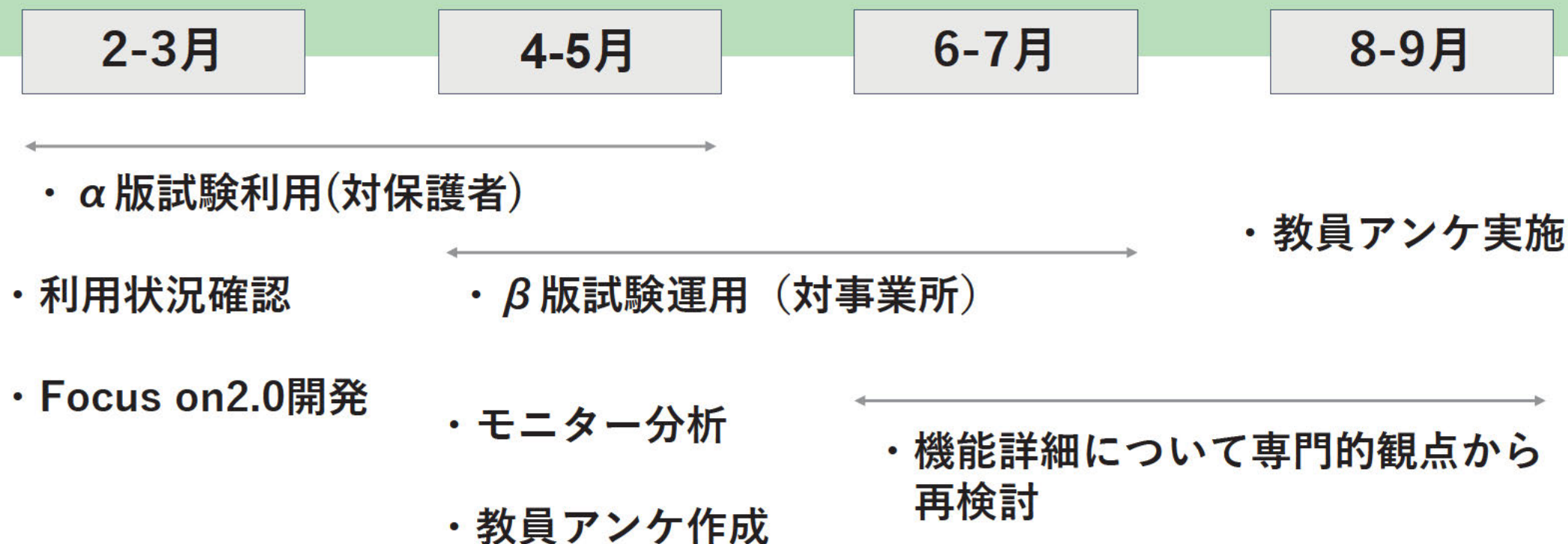
得たこと
学んだこと

✓ 現実的なFB

✓ 一生使えるアプリである

✓ 当事者発信の強さ

今後の予定



Schedule

2021年

- ・ 継続的な試験利用
- ・ 機能のブラッシュアップ
- ・ 専門家打ち合わせ

2022年

- ・ アプリ外注先探す
- ・ 資金調達
- ・ 法人化

2023年

- ・ β 版検証
- ・ 本リリース

課題

- ①マネタイズ/BMブラッシュアップ
- ②本当に“使える”かつ専門性の保証
- ③良いもの/使えるものの開発とスピード感の両立
- ④いつ本リリースするのか

**Thank you
for listening!**

Focus on



オープンリソース、地域資源を活用した「総合の探究の時間」の年間カリキュラムモデルを作成・検証する

産業社会学部 2年生
川上 友聖

活動目的

目的

誰しものが質の高い探究学習を受ける事ができる環境を作るため

私の活動を通して、「総合の探究の時間」の年間カリキュラムモデルを作成、検証、配布をし、
誰しものが質の高い探究学習を受ける事ができる環境を作る一手を担いたい。

活動内容

内容

①提携先の私立中高一貫校の「総合的な探究の時間」カリキュラム設計・運営

中高6年間の年間カリキュラムの策定を行い、実際に隔週 2時間設定されている「総合的な探究の時間」のそれぞれの内容設計、当日の授業サポートを主に中学 1年、高校1年を対象に行う。加えて、放課後に行う高校生の希望者に対する探究のサポートも行う。

②「総合的な探究の時間」で活用可能なオープンリソースの情報収集,発信活動

主にインターネット上でのリサーチ活動を行うが、新型コロナウイルスに配慮しながらフィールドワークを通しての情報収集活動も行う。同時にあまり知られていないオープンリソースに関する情報発信活動を行う

③先進的な「総合的な探究の時間」を行う先進校の視察・ヒアリング活動

私立・公立ともに独自で「総合的な探究の時間」のカリキュラム開発、授業設計を行なっている高校に実際に赴き、視察活動を行う。また昨年度個人的にご依頼を受けていた中学・高校での探究学習の授業サポートも積極的に受け、学校現場のニーズと課題を把握する。

活動の成果

成果

〈活動の成果・実績〉

①提携先の私立中高一貫校の「総合的な探究の時間」カリキュラム設計・運営

私が作成した6学年の学習計画や年間カリキュラム、各授業コンテンツ、「探究フェスティバル」の企画などにより、学校長や担任団からも認められる「総合的な探究の時間」を実現することができた。加えて、希望する生徒の探究活動のサポートを行い、結果として、担当していた生徒が「全国マイプロジェクトアワード」にて全国大会出場まで駒を進めることができた。またこれらの活動が評価され、文部科学省 全国高等学校教育改革研究協議会(令和3年度)にて活動内容が紹介された。

②「総合的な探究の時間」で活用可能なオープンリソースの情報収集、発信活動

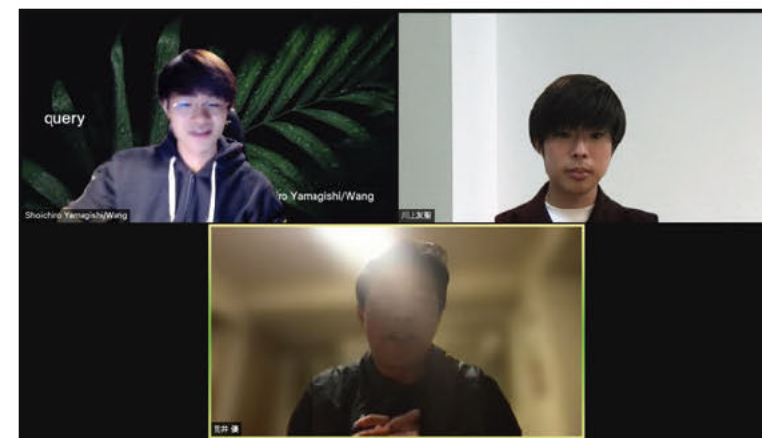
③先進的な「総合的な探究の時間」を行う先進校の視察・ヒアリング活動

私自身様々な先進校やステークホルダーにヒアリングや意見交換活動を行ってきた。具体的には、20名以上にヒアリング・意見交換を行い、3校へ視察をした。その活動を個人のSNSで発信し続けることにより、学びをシェアすることで貢献できたのではないかと考える。実際にSNSの発信を起点に都内の中高一貫校で教員をされている方からヒアリングを受けることなどにも繋がった。

「まちづくりに寄与する地域資源を活用した総合的な探究の時間のあり方と実践」を追求したい

今年度は首都圏にある中高一貫校で実践し、オープンリソースの活用方法について検討し、有効性は感じられた。しかしながら他の高等学校でも導入できる形に一般化することが難しく、一般化した所で「総合的な探究の時間」をより良い授業内容にすることが難しいとわかった。その事から行政単位で「総合的な探究の時間」を深め、まちで教育のあり方を模索している地域で今後の活動を展開していきたい。

実際の活動風景



制作したカリキュラム

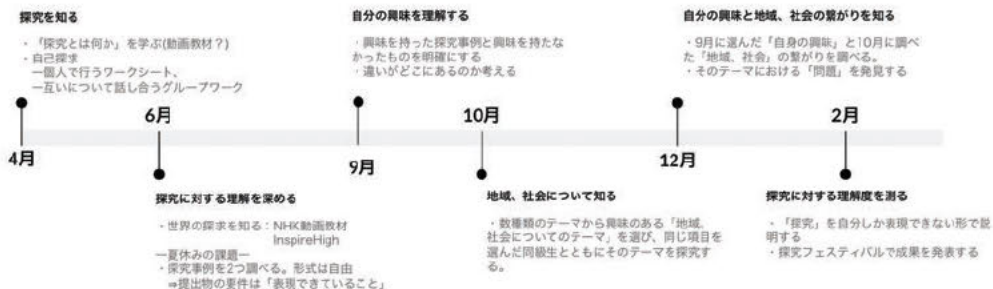


総合的な総合/探究の時間 カリキュラム素案

昭和学院中学・高等学校

3.中高一貫探究学習デザイン

一中学1年次の実施計画一



Challenge奨学金 活動報告

産業社会学部 新山大河

活動テーマ①

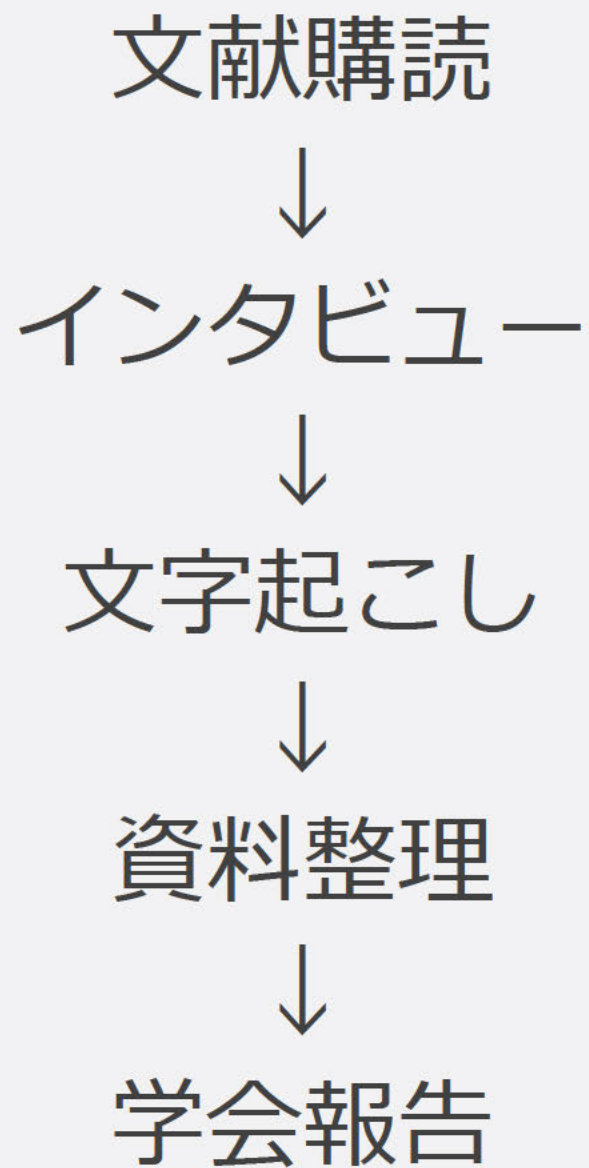
ライブハウスとコロナウイルス —音楽産業におけるコロナウイルスの影響—



活動目的①

災害と文化の揺らぎを音楽業界の人々の生活史から記述し、学会報告・論文投稿を通じて文化社会学に貢献すること。

活動内容①



活動の成果①

2022年12月4日(土)

日本ポピュラー音楽学会主催

第33回年次大会個人発表

活動テーマ②

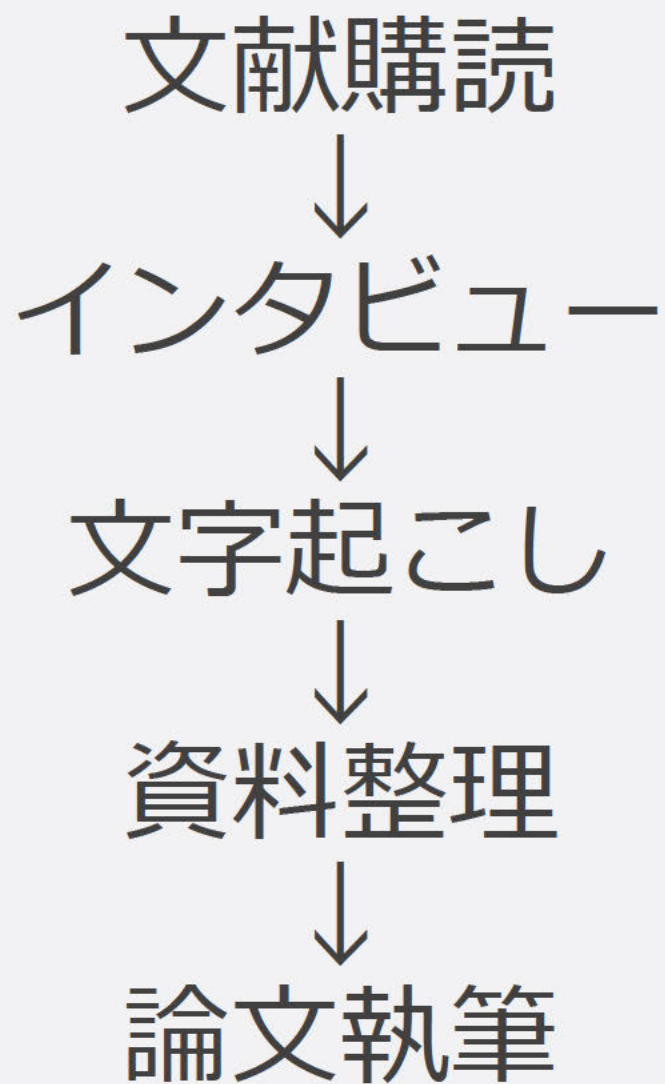
マチヅモのメカニズムを解きほぐす
—バンドマンの生活史を通じた事例研究—



活動目的②

男性性の誇示を評価軸とするコミュニティへの参与を通じて、マチズモ(男性優位社会)が維持され、再生産されるプロセスを明らかにする。

活動内容②



活動の成果②

岡本茂樹奨学金(産業社会学部優秀論文賞)受賞

【SNSでの反響】

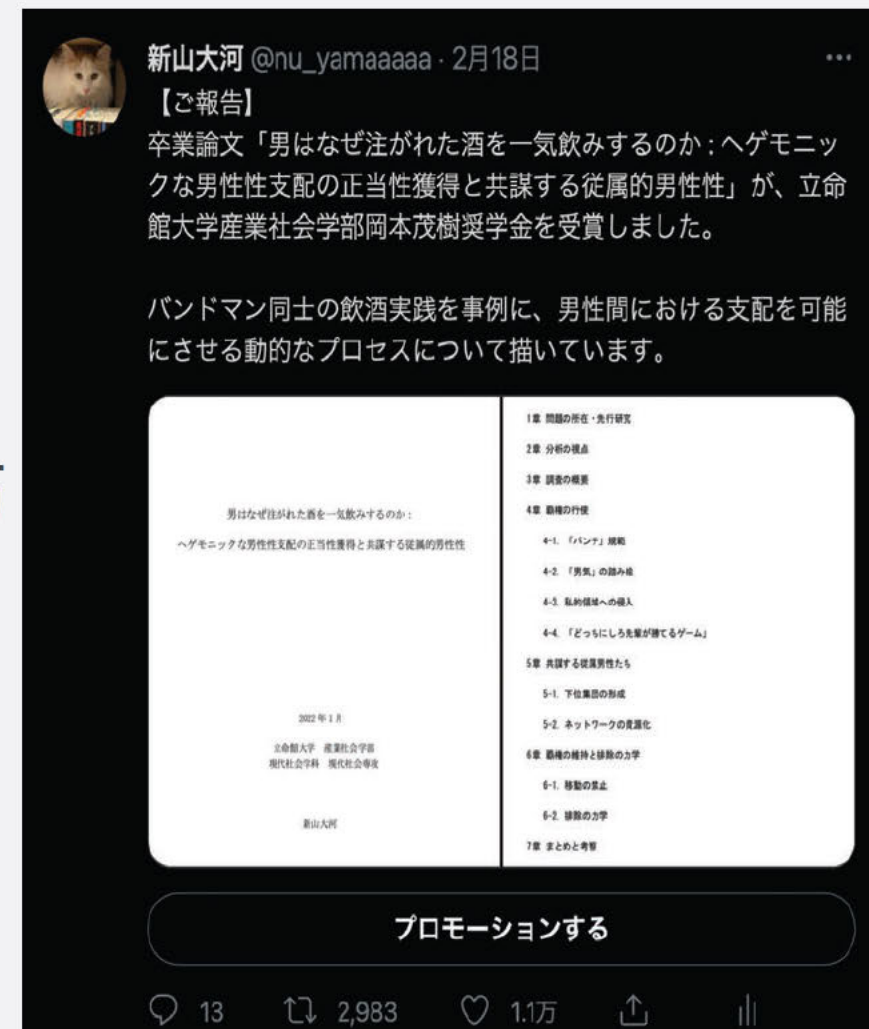
RT:3021

いいね:1.1万

インプレッション:116万

エンゲージメント:10万

(2022年2月26日時点)



今後の活動内容/ビジョン

①5月に学会誌へ論文を投稿する

②3月に学会報告（予定）

9月に学会誌へ論文を投稿する

+ 新たな調査を開始予定

Challenge奨学金 成果報告

国際関係学部
Shirahige Barbara



テーマ： 「動画等のデジタルコンテンツを通して
南米の人に日本語学習の機会
や日本文化を広める」

活動目的

日本に興味を持ってもらう

.....

日本文化や日本での生活を発信することで、「リアルジャパン」に触れて関心や興味を持ってもらいます。

日本語教育を届ける

.....

英語や日本語での日本語教育は供給側が多い反面、多言語で展開されていません。ここでは南米最大国「ブラジル」の言語：ポルトガル語での日本語教育を展開し、ニーズに応えます。

日本語コミュニティを創造する

.....

日本にいる日本語学習者や、海外にいる日本語学習者には十分な「言語学習コミュニティ」がありません。ここでは、ポルトガル語話者の日本語学習者にコミュニティを提供して、日本語勉強のモチベーションを維持を図ります。

活動内容



YouTubeで
日本語教育・文化発信



Instagramで
日本語教育コンテンツ発信



日本語教育に関する
リサーチ



日本語教育PDFなど
の作成

活動の成果



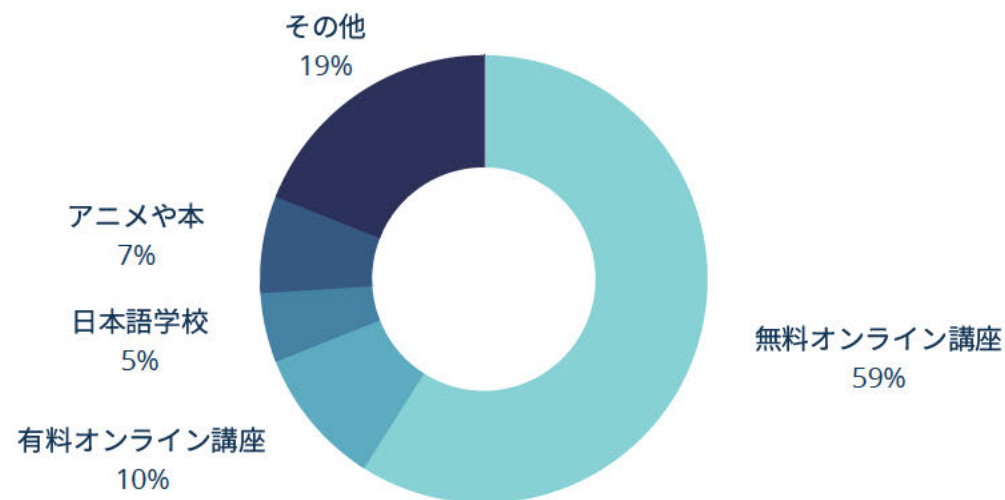
日本語教育に関する
リサーチ

▼日本語に興味を持つ人約323名にアンケート調査を実施

- ・多くは初学者(JLPTN5以下)
- ・日本在住じゃない場合、言語習得に緊急性がない
- ・日本語学習の理由は
 - ①アニメや文化が好き
 - ②日本に移住したい
 - ③旅行のため
 - ④仕事で使うからの4つが多かった
- ・学習はインターネット上で無料のコンテンツを活用

などが分かった。

※グラフは「何で日本語勉強しているのか」の回答結果。



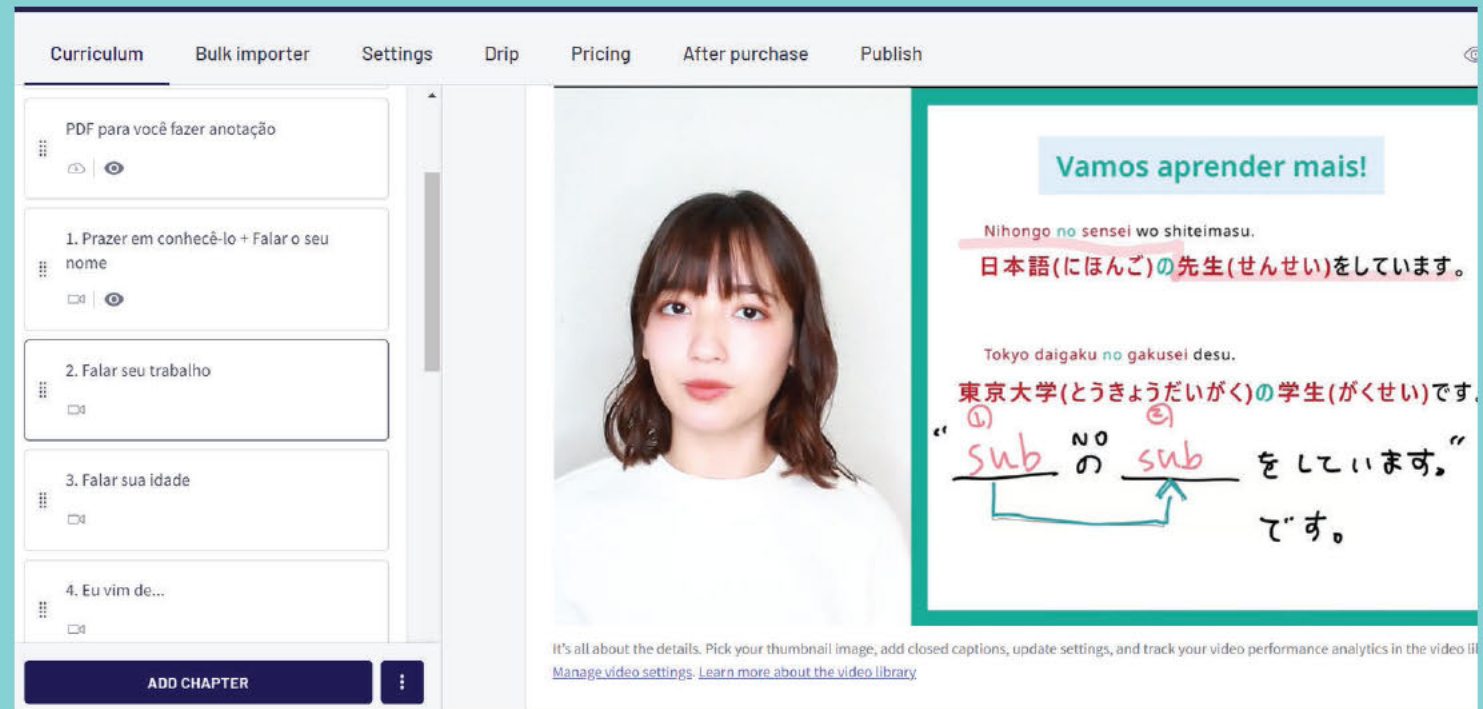
多くの方はインターネット上のコンテンツで日本語を勉強している。つまり、動画コンテンツやサイト上で日本語教育の展開を拡大すれば、より多くの学習者が日本語教育にアクセスできる。動画やブログなど、ニッチな日本語教育こそデジタル化をすすめるべきである。

活動の成果



日本語教育講座などの作成

- ・ 学習プラットフォームに「自己紹介の仕方」など、ポルトガル語で日本語の学習コンテンツを作成
- ・ 日本語単語リストPDF配布など、様々なコンテンツを作成



活動の成果

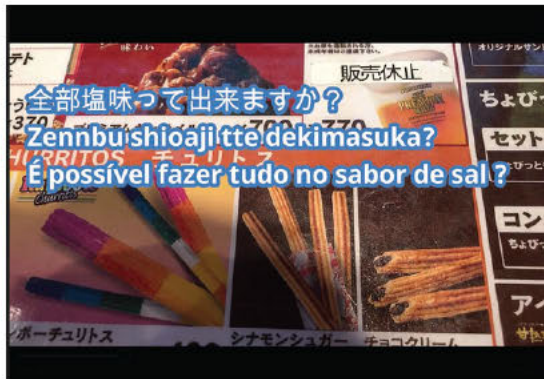


YouTubeで
日本語教育・文化発信



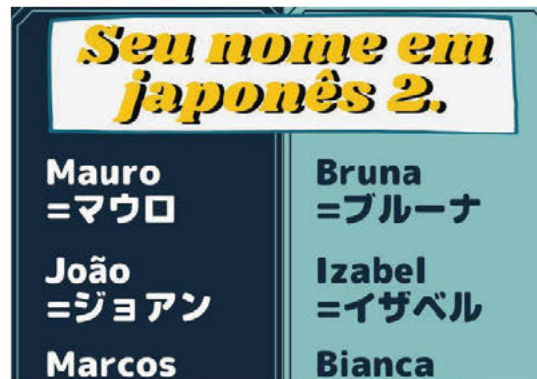
Instagramで
日本語教育コンテンツ発信

YouTubeとInstagramで動画やフィードを作成して投稿
YouTubeでは毎動画1.5万～3万再生、Instagramはいいいね2000など、
日本語を学ぶことへの関心の高さが見られた



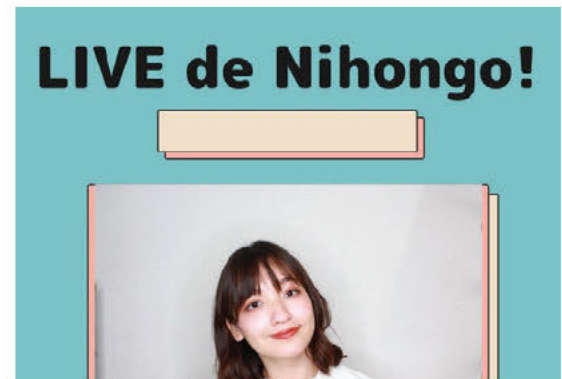
リアル会話を書き起して

教科書とは違う日本語を教える
動画をYouTubeに投稿



インスタグラム

日本語を気軽に勉強できる
コンテンツを作成



LIVE授業

リアルタイムで配信し、日本
語に関する疑問を解消



学んだこと

- 日本語教育のニーズは、想像ではつかめない
- 学習者が求めていることは、学習者自身にもわからない
- 日本語教育はオンライン展開の
拡大をしてアクセスを簡単にすべき
- きっちりとリサーチして教育コンテンツを作成すべき
- 話し方や教え方は生徒に合わせる

今後のビジョン

▼日本語文化を発信

引き続き動画配信を行い、リアルな日本を知ってもらう

▼日本語教育を発信

YoutubeやInstagramを活用して、
より多くの人に日本語学習を発信

▼日本語教育へのアクセスを簡易化

現状の日本語教育は古かったりコミュニティが無かったり、
アクセスが悪かったり、堅苦しかったりする。
日本特有の「教科書勉強」→「リアル勉強」にシフトするため
に、日本語教育サイトやプラットフォームの作成を行う。
理想はネットフリックスみたいに、日常的に気軽にアクセスで
きる学習プラットフォームなので、作れるように計画を練る



ありがとうございました

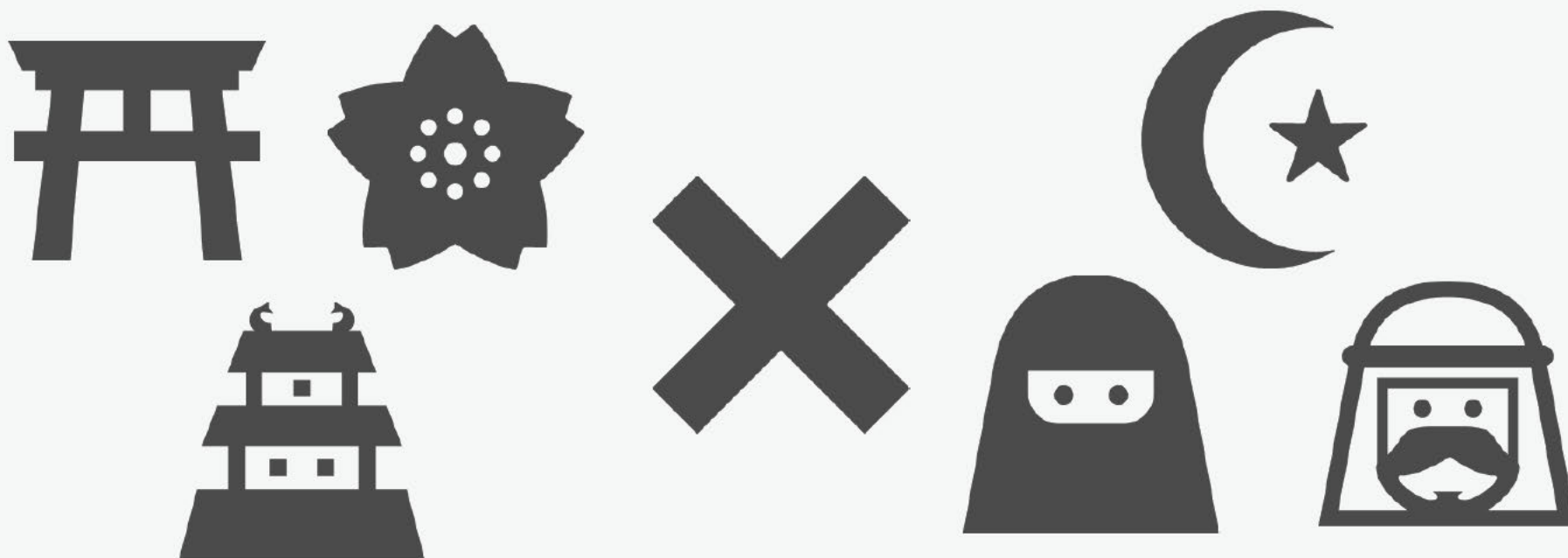
(/・ω・)/



ムスリムフレンドリーな京都へ ～ムスリム向けサイトの運営 & 飲食店・ 宿泊施設を対象にムスリム対応の支援～

国際コミュニケーション専攻 奥田七海

活動テーマ



「国際都市」京都におけるムスリム観光客・住民の増加
しかし・・・彼女/彼らを取り巻く環境は整っていない＆
ムスリム対応（ハラール）が難しいと思われる現状

活動内容

①京都府内にあるハラールレストランとモスクをまとめる

②京都のホテル/レストランでムスリム対応のマニュアル作成

③ムスリムも食事面のルールと日常生活（習慣、お祈り、服装、考え方について）

①・②・③を 公開して、日本人に「ムスリム」「ハラール」についての理解を深めてもらうための情報
在邦・旅行者のムスリムにとっては、有意義な情報を発信する

また、ムスリムと非ムスリムの共存がうまくなされているUAE・ドバイにおいてどのようなサービスがある
か視察を行い、その後のプラットフォーム運営の参考とする

活動の成果

（活動して得たこと、失敗から学んだこと）

オミクロン株の拡大により

- ・ドバイ視察を諦める
- ・休業している店舗がとても多い
- ・予定よりもHP作成にかかる費用が高額で作成できない

など計画通りに物事が進まない・・・

電話での聞き込み、書籍により知識を深めるなど

「柔軟に考える力」が身についた

今後の活動内容や今後のビジョン

- 感染拡大によりドバイ視察やお店での直接的な聞き込みが行えなかった
→収束後に再挑戦をする
- 今回の活動は京都のみに地域を限定
→今後は近畿、そして日本へと情報の幅を広げていきたい。
- ベジタリアンやヴィーガン、ペスカタリアンなどに対応したレストランやサービスを知る機会があった。
→ムスリムに限定せずに多様性を持った食の選択肢をサポートできるサイトの作成に取り組もうと思う。



活動テーマ：新型コロナウイルス感染症の影響により貧困した女性へ生理用品の無料支給

松川ひかり

活動目的

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、貧困する家庭が多くなり、特に女性に関しては「十分な生理用品が得られない」という状況に直面していることを知り、少しでもその数を減らし、安心して暮らしてほしいという思いを持って活動を考え、始めました。
- 活動自体が立命館大学生によって行われていると告知することで立命館大学の広報にも繋がると考えました。

活動内容

- SNSを用いて情報発信し、新型コロナウイルス感染症の影響で貧困している女性に対して生理用品の無料配布を行いました。
- SNSのみの活用では、目標としていた数に達する事ができないと考えたため、近隣店舗への設置も実施しました。

活動の成果

- 新型コロナウイルス感染症の影響で貧困している女性に小さいことではありますが、支援ができました。
- 立命館大学生が行っている活動であることを記載していたので、立命館大学自体の広報にも繋がったと思います。

今後の活動内容や今後のビジョン

- 今後は、私の取り組みを引き継いでくれる後輩に同じ想いを持って取り組んでほしいので話し合いを重ねたいと思っています。同じ活動をするかどうかは、後輩次第なので私が強要することはできませんが、引き継いでくれるように願います。引き継ぎが成功すれば、今後はさらに多くの女性の方に生理用品の支給をしたいと思っています。今回は技術が足りなかったのでホームページの作成は叶いませんでしたが、ホームページを作成し、本格的な支援活動にしたいと思っています。

自己成長について

- 主体性を持って行動
- 壁にぶつかっても別の方法で再度挑戦
- 責任感

以上の事柄が、今回の活動を通して大きく成長しました。

『童貞人狼』

『童貞人狼』 2021年度 + R校友会未来人財育成奨学金
活動纏めスライド

赤井秀多

①活動テーマ

身近なものでありながら、
認知しにくいものであるLGBTを
受け入れるべきだという姿勢を発信したい

②活動目的

LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、それぞれの英語の頭文字からとったセクシャルマイノリティの総称)
は決して他人事などではなく、身近なものであるということ。
そして、自分がLGBTであった時、また自分の周りがLGBTで
会った時にどういうように接していけばいいのか？といった
ことに真剣に向き合い、LGBTそのものの認知度だけでなく、
LGBTにどう社会は接していくべきなのかを様々な人に広め、
考えさせたいというもの。

③活動内容

『童貞人狼』という作品を作成、世の中に発信したいと思っています。

ストーリーとしては仲の良い童貞の男子学生グループがあるアプリを通じて自分たちの中に童貞ではない人がいるということが発覚するという流れから物語は始まります。そして、お互いのことを探りあい、最終的には童貞ではない人は同性愛者であるということが発覚し、そのことを仲間たちが受け入れるといった物語となっています。童貞人狼という字面からある一定の関心を集め、それにおいてタイトルやパッケージからは決して想定されないLGBTというメッセージ性を訴え、今までLGBTに関心のない人たちに関心を十分に集めることが出来ると考えられます。作品制作の流れとしては企画の設立、流れを取り決め、それに準じたスケジュール、作品の為に必要な人材を確保しようと思います。そして、撮影編集といった作品制作に取り掛かります。作品は作品だけでなく、広告用の為の短い予告編等も作成しようと思います。そして、宣伝、投稿をしようと思います。また、映像コンペディションにも参加を検討しているというものでした。

④活動成果

撮影を二度検討するもどちらも
コロナにより断念せざるを
得なくなってしまう。

結果として撮影に必要な脚本や
美術等は完成したものの
撮影まではありつけないとい
う現状になってしまった。



⑤今後の活動内容や今後のビジョン

コロナが収束し次第、撮影を再開し、
作品を完成まで持っていく。

奨学金は一切使用しておらず、
今後の撮影に使用しようと考えている。

また、作品は様々なコンペや
大々的に宣伝し、展開していこうと考えている。

成果報告会

映像学部 2回生
竹田菜々華

活動テーマ



移り行く世の中でどう生きるべきなのかを
「食人」を通して伝えるドラマの制作



自主制作ドラマ『人識』

活動目的

自主制作ドラマ『人識』を制作、発信し、世の中に訴えかける。

このドラマは1話10分程度で全5話で構成されていて、完成後はSNSを用いて幅広く宣伝する。

YouTubeにおいて専用アカウントを制作し1話ずつ期間を開けて公開。またAbemaTV・Netflix等での公開の交渉も行い、多くの人に視聴してもらえるようにする。

活動内容

「自主制作ドラマを制作する」

この自主制作ドラマ『人識』を制作する目的は、社会の当たり前が受け入れられずに孤独感や閉塞感を抱いている主人公を描くことで、自分の当たり前の認識から離れ、マイノリティーの立場になって考えて欲しいということを、多くの人に伝えるためである。



活動の成果

(活動して得たこと、失敗から学んだこと)

- ・多くのスタッフと協力して1つの作品を作り上げる達成感
→私ひとりではできなかった
多くのスタッフの支えがあったからこそ、ここまでできた
- ・危機管理
→コロナ禍で撮影することに対する危機管理
- ・自身の苦手分野
→苦手な分野に対する指示や意見交換などを十分に行えなかった

今後の活動内容や今後のビジョン

- ・この作品「人識」について

まだ編集が終了していないため、まずは編集を終わらせる

その後公開のために告知などを行う

→この作品が誰かの何かになればいい

- ・今後のビジョン

将来やりたいこと（ドラマの制作）

→そのために作品制作を行っていく

コロナ禍で 感じたこと

学校を使用できない

機材が借りられない

学校をロケ地として使えない

事態が急に変わる

ロケ地が急に使えなくなる

キャストが急に出れなくなる

体調不良者が出たら、すべてが停止する

⇒

撮影を無事終わることができ、作品を公開できることは奇跡だと言える

2021年度

活動成果報告書



Tada Keigo

Chapter 01

活動テーマ

クリエイティブカレッジ
Creative College

オンラインでクリエイティブを学べる学校の運営



YouTubeを活用したクリエイティブにおける**知**の共有

クリエイティブカレッジ
Creative College

知識や技術の発見を目的



作ることを感覚的ではなく、論理的に学ぶ大切さを感じ、
クリエイティブを学ぶことのできる本講座を制作。

Chapter 02

活動の成果

数的成果

累計で再生回数 **6000** 回を突破

人的成果

講座の制作過程にこだわる企画に **進化**

Chapter 03

今後の展望

オンラインから脱却できるかたちで、
クリエイティブにおける知の共有を可能にする

立命館大学Challenge奨学金 成果報告

立命館大学映像学部4回 石田康太

活動テーマ

アジア人に関する人種差別

①アジア人差別の問題

②アジア内差別の問題

活動のきっかけ

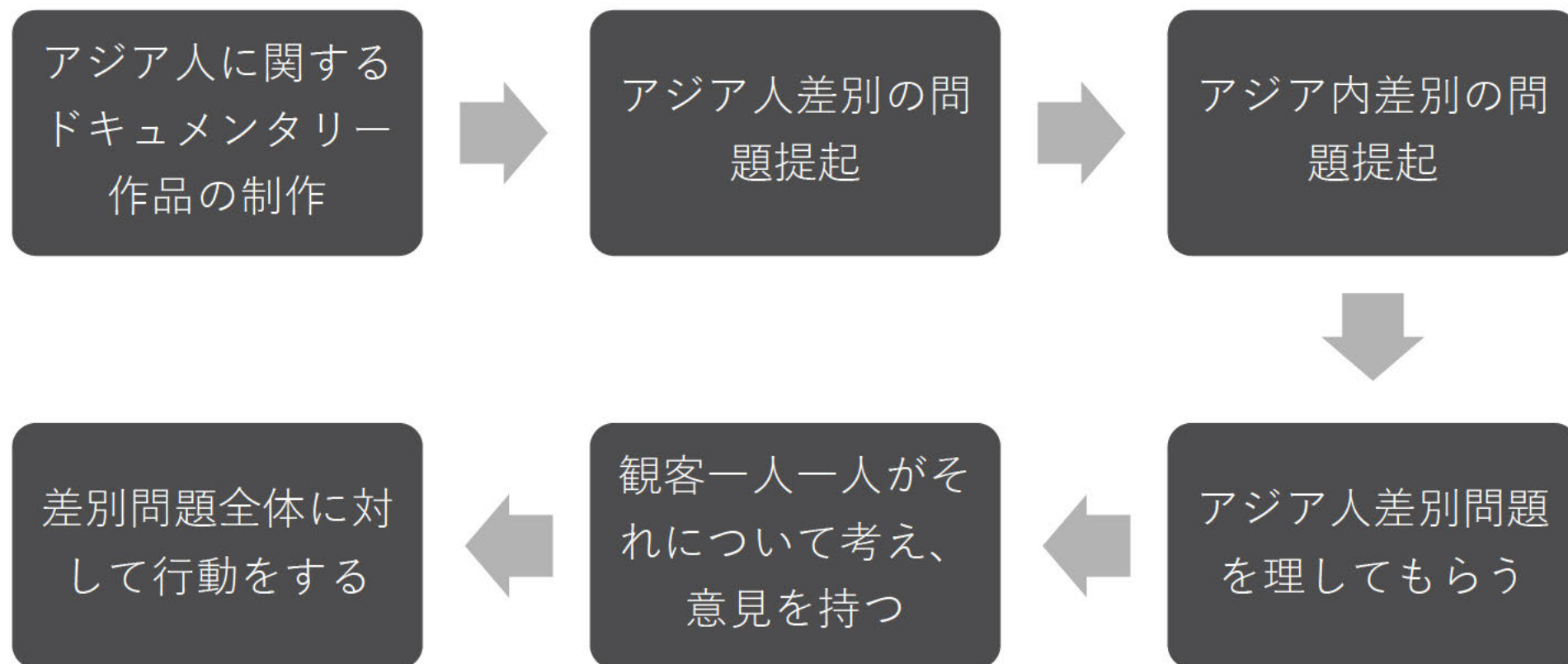
①コロナウイルス発生後に差別運動が盛んだったから

②海外のアジアにルーツを持っている友人の多くが実際に体験していたから

③アジア人である自分があまり認知していなかったから

④日本ではそれほど問題になっていなかったから

活動目的



活動内容

ニューヨーク大学の中国人アーティストVivi Zhou氏とのドキュメンタリー作品制作

アジアにルーツのある8人の若者にインタビュー

イギリスで音楽を研究している日本人アーティストYoshi氏に劇音を依頼

作品内容

1. ステレオタイプ
2. イントロダクション（自己紹介）
3. 子供時代の経験
4. 差別に関する危険な体験
5. 世界の差別問題・分断
6. Asian Hate から想起されるイメージ
7. アジア内の差別

Visual Storyboard

Part 2 - Stereotype/ insecurity

Map - Chat message - emoji - popping up

- Idea 1: black background with the sound of the words coming
- Computer system start with a black screen - the voice ends with the computer starting

Part 0 - Introduction

Map of different characters in the documentary - people's headshots as emoji

- Lack screen of desktop - world map - tracing of characters with headshots dropped on the map
- Just use the emoji without the faces
- Why these emojis are moving -
- How do we move - everyone is going to move at the same time
- Audio: everyone talks - while talking their head becomes bigger - each emoji have 3-4 seconds to talk about the information

→ world map, interviews, animation emojis

Part 1 - Childhood

Conversation - group call? Or just video? Or emoji from world map having a conversation

- Lunch box - riko and anthony
- Animation emoji - Riko and Takumi - and one sentence from Anthony
- Transition - more interviewers talks about danger and aggression (part 3 from the script)

→ Interview videos, files

Part 3 - Danger / aggression

Collage of aggressive/harmful images - transition to news and real recording of events

- Notification - box - harmful messages - include the videos in the notification - news / videos / harmful message
- Inserting notification in the middle of showing the file

→ news, messages, videos, notification

Part 4 - Asian hate/separation

Show sign of computer breaking down (digital noise)

Everyone talk at the same time? Videos being played at the same time

Skin color?

- Everything : news/ images/ videos/ interviews/ emojis - everything talks at the same time - Interviewer: talk about the reaction (part 4 from the script)

→ everything(news/ images/ videos/ interviews/ emojis), digital noise

Transition: computer freeze Loading sign

Part 5 - Words

- After the computer freezes - from two sides or tops we see paints emerging together - we hear the experimental music with the words that are being spoken

→ experimental film (painting), experimental music, words

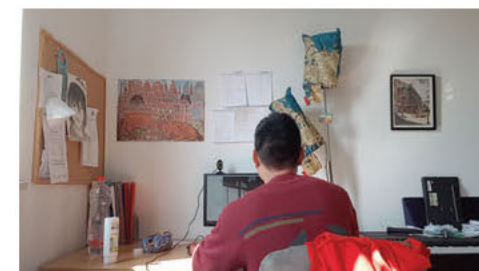
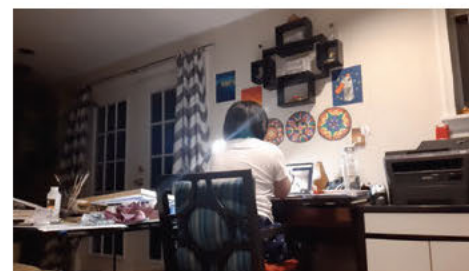
Part 6 - Asian hate in Asia

- Computer restart after the credit - and we see people talking about the Asian hate in Asia

→ world map, interviews

Emoji break up and show the emotion

- world map
- skin colors
- photography
- outside / inside - looks / emotions
- common parts
- world discrimination, country, region
- computer / internet
- human being
- Painting



活動成果

①奨学金を活用して個人の幅を超え制作

②海外のアーティストとのコラボレーション

③ニュージャナル（ドキュメンタリー実験映像）の制作

④作品公開（今後の活用内容）

今後の活動内容

3月下旬

映像の完成

4月上旬

SNSメディアに投稿
(事前連絡済み)

4月下旬

ドキュメンタリーア
ワードに応募

今後のビジョン

立命館大学卒業後はイギリスの
University for the Creative Arts – MFA
Photography（修士）で現代ア
ート・現代写真アートを研究予定

コンテンポラリーアーティストとし
て、社会の様々な問題を写真に落と
し込み、芸術作品の制作を行う

CHALLENGE奨学金 活動まとめ

映像学部4回生

三宅樹子

活動テーマ

- 「推し」がいるからこそ人生に及ぼしている影響についての考察・番組制作（卒業研究）

活動目的

- 「推し」がいる人（＝オタク）のイメージアップ。
様々な幸せの形を示し、共感の輪を広げる。

活動内容

- 現在までの軌跡：宝塚歌劇・ジャニーズ・舞台・映画など様々な界隈の、推しのいる人（＝オタク）を4名集め、推しのいる生活から推しの存在が自身に及ぼした影響、価値観の変化まで赤裸々に語ってもらう。その様子をトーク番組として撮影・編集する。完成した番組は映像学部の卒業展示で上映。
- これからの予定：その後あらゆる映画祭に出品。各回での上映時に番組SNSアカウントの存在を周知し、鑑賞後に番組名のハッシュタグをつけた感想を投稿するよう観客に呼びかける。

活動の成果（活動して得たこと、失敗から学んだこと）

- 今回の取り組みによって、積極的に作品を世に出していくことの大切さを実感できた。制作中は自分の作品がどんな風に見えているのかがわからなかった。
- もちろんチームメンバーや教授には見せていたが、身内の評価だけでは客観的な意見を得にくかった。そこで正課の学びや取り組みである卒業展にて上映し、視聴者からのフィードバックをもらった。
- 自分が思っていたよりも「面白い」「共感する」などの感想が多く、多くの人に向けて上映する自信がついた。

今後の活動内容や今後のビジョン

- 今後の活動展開は、あらゆる映画祭に出品。各回での上映時に番組SNSアカウントの存在を周知し、鑑賞後に番組名のハッシュタグをつけた感想を投稿するよう観客に呼びかける。
- 展望としては、受賞を目指しつつ、あらゆる人からのフィードバックをたくさんもらうこと。

身についた力「達成力」について

- 編集をやりきること。編集作業の魅力を知るところまでじっくり編集に取り組んだことが大きかった。
- 上映をしてフィードバックをもらうこと。卒業展に出して視聴者からコメントをもらったことが大きかった。
- 2つに共通することは、何をやるにしてもとりあえず実践してみることが大事だということ。

① 「活動テーマ」



エスプレッソマシンの の乳化の向上

- エスプレッソマシンの電子化
- エスプレッソの乳化のプロセスの解明
- 高品質なエスプレッソ抽出の安価な実現

理工学部 機械工学科 2 回生 岡田拓真

まずい エスプレッソ

~2万円



<https://macaro-ni.jp/53993>

乳化してない！！

うまい エスプレッソ



6万円~
30万円



https://mystyle.ucc.co.jp/magazine/a_274/

乳化してる！！

②「活動目的」

アナログなエスプレッソマシンをデジタルな制御ができるように改造し、より高品質なエスプレッソを家庭で抽出できるように調査・試作を行い、将来的に競争優位性を持ったエスプレッソマシンを開発することを目標とする。

③ 「活動内容」

- EDGE+R起業・事業化トークイベントでのピッチ
- SonyCSL研究所の方の前での学生のピッチ（野中准教授主催、BKC開催）
- エスプレッソを提供しての、ユーザーヒアリング
- エスプレッソマシンの改造

ピッチ

- EDGE+R起業・事業化トークイベントでのピッチ

起業家・事業家
トークイベント
2021年
EDGE+R
ONLINE

#1

アフリカのヘルスケア課題を
テクノロジーで解決する

・開発途上国のソーシャルインパクトと持続可能な形を考える・

AfricaScan 株式会社 AfricaScan
ゼネラルマネージャー 原 健太氏

参加者ピッチ No.1 | 岡田 拓真さん (立命館大学理工学部2回生)

参加者ピッチ

立命館大学 理工学部 2回生
岡田 拓真さん

「乳化機構の向上」

起業家・事業家
トークイベント
2021年
EDGE+R
ONLINE

安価なプラスチックマシン



1~2万円

家庭用 高価格帯 製品




8~10万円

理工学部 機械工学科 2回生
岡田拓真

シャバシャバ



トロトロ



↑ 油

↑ 乳化した油

インサイト獲得

- エスプレッソを提供しての、ユーザーヒアリング
 - 「コーヒーを飲み慣れているか、砂糖の量はどうか、牛乳はあるか、毎日飲みたいか」を調査
- 毎日飲みたいレベルでエスプレッソを好む人は6人に1人の割合で存在
- 好まない人にはアレンジドリンクを訴求するべき。

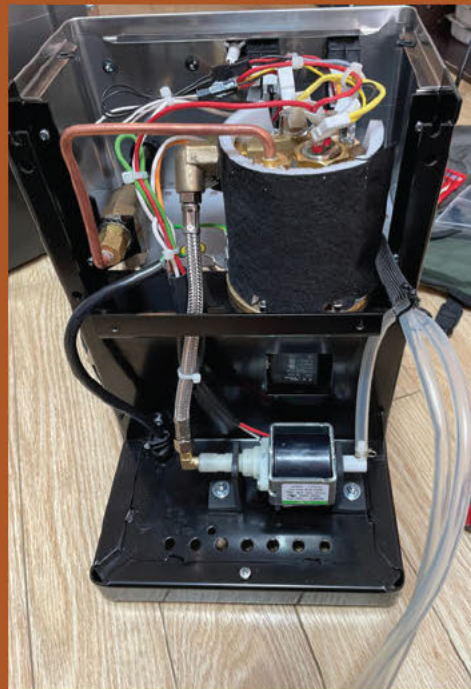


B	C	D	E	F
性別	普段コーヒー	砂糖について	毎日かどうか	その他
女	コーヒーは飲み慣れている。牛乳を入れて飲んでいる。	砂糖が多い。	たまにちょうどいい	
男	コーヒーは飲み慣れている。	砂糖が多い。半分でいい。	うーん	半分のこす。かなり甘いという感想。
女			牛乳欲しいよね	他のものものと合わせてなら全然いける。アイス。ガツと飲んだ。
女		この感じすま。めっちゃいい。	いいね	
女	コーヒーは飲み慣れている。	砂糖少ない方がいい。		
男	コーヒーは飲み慣れている。	砂糖ちょい多めかも、今なら3でもいいかも。	どうなんだろう	何を目標するかによる。
	たまに飲む人	砂糖はギリギリを攻めた方がいい。甘さを感じるとコーヒーとして違和感がある。		
	飲み慣れている人	砂糖はたっぷりです。残ったものをすくう		
		アフターガード、自販機のアイスならかなりアイスがうまくなる。		
	毎日飲むのどうか	仕事しながら飲む前夜だときつい。もっと薄い方がいい。		
	飲み慣れている人	毎日でも楽しめる。砂糖がいるのは飲み慣れているかどうか		

食マネジメント学部保有のマシンを利用して10人に提供

改造

- エスプレッソマシンの改造



④ 「活動の成果」

- ④ 「活動の成果（活動して得たこと、失敗から学んだこと）」
- 意識の面
 - 実際に支払いを行い、不確実な投資というリスクを負った後で実際に求めている成果を得られた成功体験ができたことで、大きく成長することができた。今までは、実際に求めている成果が出るのかということに目が向き、行動に移すことに消極的になっていた。今後は時間・金銭的な資源を投下する前に、明確な根拠付けと優先順位付けを行い、それをもとにリスクを取って行きたい。
- ビジネスの面
 - ピッチによる外部機会の獲得・広報
 - ヒアリングによる顧客インサイトの把握
 - 改造による基本的なエスプレッソマシンに利用される技術の把握
 - 以上の調査による今後の展望の作成

⑤ 「今後の活動内容や今後のビジョン」

- 1万円台のレベルのマシンへのPIDの実装
- デジタル圧力計の導入、入荷量の測定のデジタル化
- 「乳化量レベル・抽出温度・圧力・抽出時間経過変化・PID3パラメータ設定」の7つの変数のデジタル化と相互関係の解明



- 1万円レベルのマシンで店と同等の品質のエスプレッソを抽出する方法を編み出すことが最終的な目的であり、場合によっては特許取得後にビジネス化を目指す。

構造

安いマシン

・ 乳化実験



https://www.paocoffee.co.jp/delonghi_ec221.html

高いマシン

・ 分解
・ 乳化の観察



←
乳化の機能を移植

<https://byara.net/2018/02/162>

活動テーマ

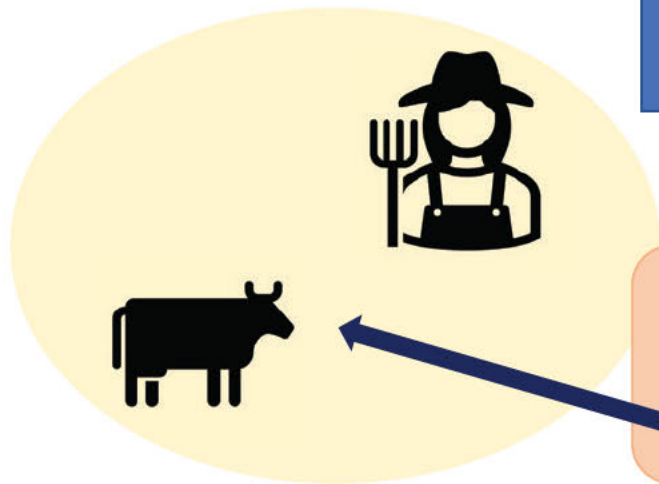
食マネジメント学部と北海道
十勝をつなぐ架け橋になる

活動目的

本校食マネジメント学部と北海道十勝をつなげ、食マネジメント生は知識と経験を積み、十勝の農業従事者の方は今の農業問題解決のヒントを食ネジメンと生から受けるといった双方のつながりを作ります。

活動内容

第一次産業で働く方々からどんな生き方・働き方をされているのかを食マネジメント生に伝えられる場の提供



食料自給率1200%

第一次産業従事者だけでなく、食に関わる企業の方の経営面から食に関するフードチェーンについてのお話もしていただける場の提供をします。



活動の成果

・2回のオンラインイベント開催

第1回 十勝の独自の流通システムに迫る



食料自給率1200%
十勝の小豆・小麦の流通システムについて
直接、役員の方からお話いただける機会です!!

日時：6月26日（土） 10時～13時
Zoomを使用したオンラインでの開催
ゲストスピーカー：山忠ホールディングス
取締役 池内 幸介 様
対象：食マネジメント学部1・2年生15名
（先着順にて決定）

第1部：山本忠信商店についての企業としてのお話、企業理念等。
第2部：キャリアについて、「働くこと」とは

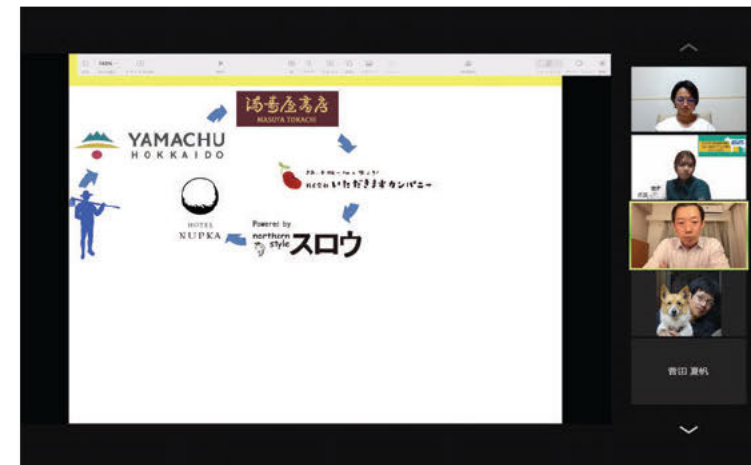
第2回
北海道の農業のリアルに迫る！！

日時：10月16日（土）
20:00-21:30

ゲストスピーカー
tokachi field action Labオブザーバー
（帯広市職員）の鷺北博敬さん

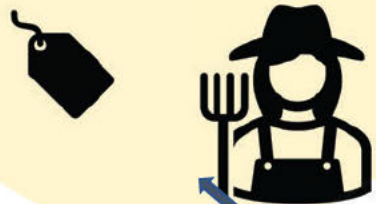
20:00-20:05 参加者zoom入室
20:05-20:10 企画者挨拶、講師紹介
20:10-21:00 十勝の大規模農業について
21:00-21:20 質疑応答
21:20-21:30 アンケート回答

活動の成果



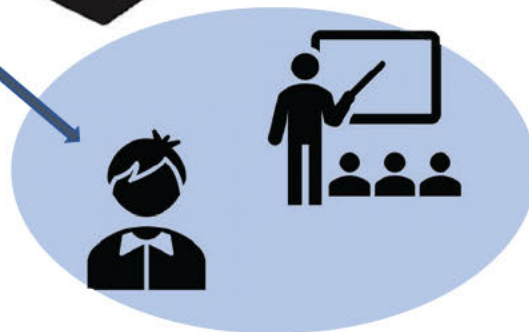
今後の活動内容やビジョン

6次化された商品



- ・ 6次化までの道のり
- ・ 想いと繋がり

オンライン



滋賀県内の農家さんの廃棄野菜を使って商品を作り、滋賀県内のマルシェで販売

- 地産地消の働きかけ
- 廃棄野菜問題呼びかけ

活動の まとめ

食マネジメント学部2年
鈴木 実来



目次

- 1 活動テーマ
- 2 活動目的
- 3 活動内容・成果
- 4 今後の活動・ビジョン

1

生協食堂における
食の多様性への対応の欠如

2

サステイナブルな食の選択肢
としてのプラント・ベースな
食の認知度の低さ

「大学におけるプラントベースの認知度を向上させ、食のバリアフリー化とサステナブルな選択の普及を目指す。」



1

食の多様性に幅広く対応することが可能なメニューの導入により、利用者の食制限の有無にかかわらず、学食を楽しめる環境の実現を目指す。

2

学生が食と環境問題をはじめとするあらゆる社会問題との繋がりに気づき、考え、議論をしあえるような機会やきっかけ作りを行う。

1

立命館大学生協食堂に
プラント・ベースメニューを導入す
るための働きかけを行う。

2

プラントベースな食の選択肢の
認知・普及活動を行い、その意義や
可能性を学生に伝える。

→ オンラインイベントの実施、SNSでの情報
発信、他団体とのコラボ企画など

1. 食堂にプラント・ベースメニューを導入するための働きかけ

07

11月

BKCにて初のプラント・
ベースメニュー導入実施



1月

ヴィーガン・ベジタリアン
マークの定義見直しの提案

▶ 3キャンパスでの導入が決定



12月

KIC存心館にて

- VEGEWEEKの実施に協力
- 他団体とのコラボ企画で
ヴィーガンスイーツ販売



3月（実施決定）

KIC諒友館にて、
VEGEWEEK 第2弾



2. プラントベースな食の認知・普及にかかわる活動

08

プラントベースな食と健康についての理解
が深まるドキュメンタリー映画「Folks
over knives」上映会の実施



プラントベースの食生活に関する
悩み・疑問を気軽に共有しあう
交流会の実施



2. プラントベースな食の認知・普及にかかわる活動

09

Instagramでの情報発信



その他 メディア掲載など

10

立命館大学公式ホームページ / 大学生協広報誌「Campus life」 / Web雑誌 LEE 等



1

プラント・ベースメニューの常設化を目指し、引き続き食堂店長や管理栄養士の方、また学生団体のメンバーの協力を得ながら推し進めていく

2

引き続きSNSでの情報発信や掲示物作成等に加え、NPOベジプロジェクトジャパン代表の方とのトークイベントの実施や学外で行われるエシカルイベントへの参加なども予定

動画で普段の食の選択の幅を広げる

立命館大学食マネジメント学部2回生

安本沙羅

A large, light orange triangle pointing to the right, serving as a background for the text.

活動テーマ

動画で食の選択の幅を広げる



活動目的



伝統野菜やスローフード協会が定める味の方舟に登録された産品を消費者に知ってもらい、社会課題の一つである食の多様性の危機を解決し、食で暮らしを豊かにすること。

活動内容

- 様々な農家さんへの訪問（収穫などの作業の手伝いなど） / ZOOMで農家さんの話を聞く
- 農家さんのところで採れた野菜を使った料理を提供するイベントを開催



- 食材の撮影（収穫、加工しているところや料理している所）
- 動画の編集 / 配信





タイトル

【かんぴょうレシピ】水口かんぴょうをぜひ食べて知ってほしい

活動の成果

- 企画書の重要さを学んだ
- やりきる行動力が身についた
- 一次産業を自分ごととして捉えられるようになった
- 動画を作成していく上での重要なポイント
(絵コンテを始めに作ること、ターゲット層を決めること、サムネイルの重要性、ハッシュタグの重要性など)

周圀に与えた影響

- ・ 農家さんを応援することにつながった
 - ・ 動画を視聴してくれた主婦の方が取り上げた食材に関心をもってくれた
- 子供に共有してくれた

[illegible]

立命館大学食マネジメント学部
伝統の味 動画で紹介

話の中に「上は人、動
画を見て、水口がバク
とに精力を感じて、た
はせむ一皮會うまで
はせむ」と思いを話し
た。

安本さんと川島さん
は、他の伝説野郎と
してR動画も制作し
て、YouTubeアパワド
でサブチャンネル「上
はバク」を設けた。上
はは確信を「予定だ」
と語った。上はは「上
はの存在や価値を多く
の人に知ってもらえ
るに代わって、自分が
持っている良し、悪い
なすべてをさらけ出す
に代わって、なにかか
らなければならぬ」と

(後編) 上はは

今行っていること

- 2つ目の動画制作

→食材：潮かつお（スローフードの味の方舟に登録されている）



奨学金受給者の交流会で知り合った映像学部生とコラボ

今後のビジョン

- 動画をもっと多くの人に見てもらえるよう働きかける
 - JAなどで動画を流してもらおう
 - 一般の料理教室などで動画を見てもらい、実際につくってもらおう



食用昆虫養殖の半自動化

立命館大学 3回生 食マネジメント学部

香川 友希

2022.03.18



採用前，食用コオロギの養殖を簡易な飼育箱で始めるも，管理が大変であることに気づく



養殖環境を半自動化し，コオロギを安定した環境で育てることを目的とする

1. 飼育箱の衛生面改善

- コオロギの住処に糞尿や餌の食べ残しが残る

2. 餌や水やりの効率化

- 数日に一度だけ与えるような仕組みを考える

3. 安定した温度での養殖

- 飼育環境を25~30°に保つ必要がある

4. 餌を変えることが与えるコオロギの食味への影響を検証

- 当初の内容とは異なるが，並行して取り組む

1. 飼育箱の衛生面改善
2. 餌や水やりの効率化



1. 飼育箱を外注し，足場を網目にする
ことで糞尿が下に落ちる構造にした
2. 水やりはタッパーとガーゼで水場を
作ったが糞尿が付き，衛生的でなく，
コオロギの給水も進まない
→水をゼリーにして汚れがたまらず，
コオロギも水ゼリーに集まるように
なった

3. 安定した温度での養殖 4. 餌を変えることが与える コオロギの食味への影響を検証



3. 使用している部屋のエアコンは集中管理，飼育箱ごとに温度調節可能なヒーターをつけることは高コスト→エアコンのスイッチを自動で押す機械を設置し，室温を一定に保つ

4. コオロギは餌によって味や香りが変わるため，果物を使って癖のないコオロギを育てられると予測→実際には大きな変化は感じられず，更に香りの強い食材を餌にすることを検討

今後の活動内容や今後のビジョン

- 達成できなかった、餌や水の自動付与
 - 可能な限り低コストで効率的に餌を与える仕組み
- 食用昆虫の養殖に関する衛生問題の解決
 - 日本ではまだ未発展の分野であり、研究の余地がある
- 昆虫食の消費者による需要性を向上するための活動
 - 作成したコオロギについて官能試験を行い、得られたデータを元にさらなる魅力の発信を行いたい

「活動テーマ」

アートを通じてありのままを表現し、人と人の優しい時間を創造する

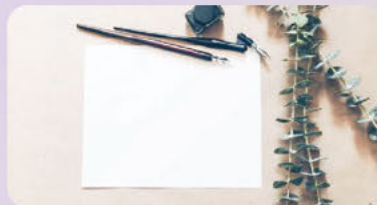
ふうふじかん

家庭環境における夫婦の関係性をより優しくすることが目的。

人間のアイデンティティーや意識の多くを形成する家庭環境において、人と人との関係性が見直せる、きっかけを創造する。

3つのコンテンツを制作

・愛するということ練習帳



愛する練習を二人で学ぶコンテンツ

結婚のカタチは人それぞれ
夫婦のカタチも人それぞれ
長く寄り添った二人がもう一度お互いを見つめ直すきっかけを

・ワークショップ



ふうふじかんワークショップ

二人で生活のことや将来のこと、これまでのことを質問シートに書いて
お互いにシェアする。

・ふたりルールブック



二人のルールブックを作成

ワークショップをして二人で話したことを元に
生活におけるルールブックを作成する。テンプレートを用意し
提供する

「活動の成果」

ふうふじかん

コンテンツを体験した方からいただいた感想

Comment 1

改めて話すのは恥ずかしいけどイラストを選んだり
創造的で面白かった

Comment 2

愛が技術だなんて思ったことなかった
哲学的だなと思った

Comment 3

私たちの世代は、自己理解なんてやったことなかったの
でやってみたかった

Comment 4

形として残るのが嬉しい
何を話したのかをまた見返したい

—学んだこと—

まず調査の段階でどうやって話を引き出すかが難しいと感じたが、理想の暮らしや、楽しい時間、過去にあった出来事などを中心に話を広げていくことで、自然と二人の話を引き出すことができた。

グラレコなどで話した内容をまとめておくと、非常に喜んでもらえる。

愛すること
練習帳

じっくり婚
SLOWLY WEDDING



愛するというこ

[illegible]

おーザでブームが起きました。
「驚かす」ということの証である。

じっくり婚

SLOW WEDDING



ふたりのルールブック

名前

ふたりのルール 二人で楽しく一緒にいるために守る8か条

その1 喧嘩したら次の日にお互いの好きな食べ物を買ってくる



P.140

「今後の活動内容や今後のビジョン」

ふうふじかん

Point 1

もっと本質的なヒアリング

コンテンツを作る段階でのヒアリングを二組のカップルで行ったが、これからはヒアリングの数を増やして、より本質的なところを聞き出せるように、質問を工夫する。心理テストや占いなどを利用して、当たっているかそうでないかを夫婦で話し合ってもらうなどのアイスブレイクも試したい。

Point 2

コンテンツの改善

現在制作した愛するということ練習帳とルールブックのテンプレートも、実際に実施するともっと改善点が見つかった。その点について改善していくとともに、ワークショップ自体の設計も考え直す必要がある。アイスブレイクやもっと日常に溶け込むようなコンテンツを企画する。

Point 3

デザイン力の向上

デザインとは見た目を作るだけでなく、制作の過程やユーザーとのコミュニケーションにおいても全体として必要な概念であるため、サービスデザインの過程や、デザインプロセスについてもっと学習するとともに、パートナーシップをもっと親しみやすくするためのビジュアル制作にも力を入れていく。



WebRTC でのビデオチャットを用いた
誰もが利用できる交流サービス

活動目的

- オンラインによるコミュニケーションツールの普及
コロナウイルスとその変異種の感染拡大を抑制する
- 誰もが手軽に利用できるビデオチャットの開発
以下の機能をビデオチャットに搭載し、
利用者のコミュニケーションをサポートする
 - 字幕機能：相手の音声を文字に起こして表示する
 - メッセージチャット：キーボードで文字のやり取りを行う
 - 音読機能：メッセージチャットで相手を送った文字を読み上げる

活動内容

- ビデオチャットの開発

主にHTMLとJavaScript, CSSを用いてWebアプリを開発した

- サービスの公開

Herokuにてアプリをデプロイし, サービスの公開を行った

活動の成果

- 活動について

無事にビデオチャットの開発と公開が行えた

URL: <https://milkyway-2022.herokuapp.com/>

※ メンテナンス中は利用できない

- 自己について

- ・正課では学ばないプログラミング言語を扱うことができた
- ・開発を通して様々な知識に触れ, 他のアプリ開発を行うアイデアを得ることができた

今後の活動内容や今後のビジョン

- Webデザインの改善

現在のWebページは非常に簡素なデザインとなっているので、
今後はユーザーが利用しやすいものへ改善していきたい

- デバイスの互換性

今回はパソコンに適したアプリを開発したため、
スマートフォンでは正常に操作ができない可能性がある

ビデオチャットの操作方法

・通信を始める

- ① ページを読み込むと自分のカメラが映される
- ① 自分のニックネームを入力し, 決定ボタンを押す
- ② 発信側は相手のニックネームを入力し,
接続ボタンを押す
- ③ 相手のカメラが反映する

※カメラとマイクの使用を許可する必要がある



ビデオチャットの操作方法

・ビデオチャットの機能

- ④字幕機能と音読機能の管理ができる
- ⑤キーボードで文字を入力し, 送信ボタンを押すことで, 相手にメッセージを送れる

・通信を終える

- ⑥切断ボタンを押す

※切断ボタンが押されると,
自動的にページがリロードされる



チャレンジ奨学金成果スライド

情報理工学部一回生 本多峰之

活動テーマ

人生100年時代を生き抜いていくための資産運用を
若い世代から考えていく機会を沢山作る

活動目標

多くの若者がお金や資金運用について興味を持ち
積極的に学ぶようになること

活動内容

- ・活動の方針を決める

主に個人の開発に尽力する。今回は何の機能を実装するのかの検討と実装を行う。

- ・プログラミング言語の勉強

今回は、Python・HTML・CSSの3つの言語の勉強をProgateというweb学習サービスを利用しておこなった。

- ・お金の事、ITの事を勉強

ファイナンシャルプランナーやITパスポートの国家資格を勉強

活動内容

プログラミングの勉強

クリアした演習の量と一覧が表示される
PythonとHTMLとCSSの勉強を行った

Python

Webアプリ開発にDjangoのフルスタックフレームワークを活用するため。

HTML・CSS

Webアプリのデザインを構築するための言語



活動内容

Djangoを活用したWebアプリ開発



Django

PythonのフルスタックフレームワークでWebアプリの様々な機能を仮装環境で構築することができる

Djangoを利用して実装したこと

- ・ログイン、ログアウト機能
- ・サインイン、サインアウト機能
- ・トップページ
- ・記事の投稿と編集、削除機能

⇒ 次スライド

利用した参考本



動かして学ぶ!
Python Django開発入門
(NEXT ONE)

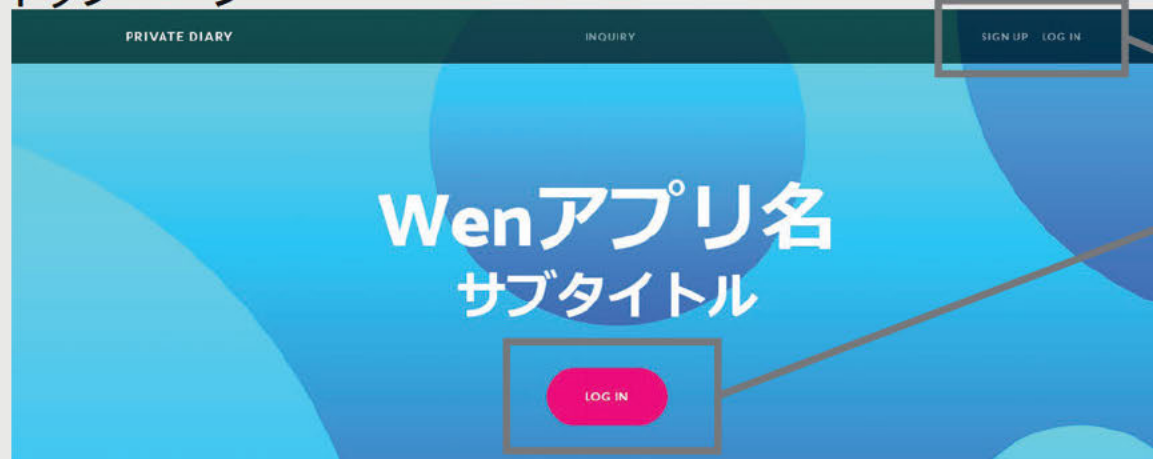
単行本 ¥3,740

活動内容

Djangoを活用したWebアプリ開発



トップページ



ログイン、サインイン
機能へのボタン

ユーザー登録

すでにアカウントをお持ちであれば、こちらから [ログイン](#) してください。

メールアドレス:

パスワード:

パスワード(確認用):

[ユーザー登録](#)

ログイン

If you have not created an account yet, then please [sign up](#) first.

メールアドレス:

パスワード:

ログインしたままにする: ☐

[ログイン](#) [パスワードをお忘れですか？](#)

ユーザー登録でメールアドレスと
パスワードを入力するとログイン
ページでログインできるようになる

こういったページのデザインをHTMLとCSSで実装している

活動内容

Djangoを活用したWebアプリ開発



日記 8 テスト日記

2022年2月13日20:40

test
これはテスト運用です。

2022年2月9日0:17

« 1 2 »

ログインすると、投稿の一覧ページを閲覧できる

新規作成

新規作成ボタンで新しい投稿を作成できる

編集・削除ボタンで、投稿の内容を変えたり、投稿を削除したりできる。写真は3つまで投稿できる。

タイトル

test

本文

これはテスト運用です。

写真



作成日時

2022年2月9日0:17

更新日時

編集 削除

投稿の詳細ページ

こういったページのデザインをHTMLとCSSで実装している

成果

活動してみても得たこと、学んだこと

- ・沢山の人に話すことで、様々な意見を得ることができた
- ・自分の活動に興味を持ってくれる人が増えた
- ・奨学金の活動以外でも、メリハリをつけて活動できるようになった
- ・プログラミングのスキルの工場

失敗から学んだこと

- ・スケジュール管理の大切さ
- ・仲間と協力して活動を行う大切さ

今後の展望

デザイン面

現在実装しているwebアプリのデザイン案はブートストラップというテンプレートを少し改変したもので、実際の作成したいデザインとは違う。そのため本番運用に向けて、デザインの改変を行いたい

機能面

機能面では実装しなければならないことは沢山あるため箇条書きにする

- ・サイト内の決済機能
- ・プロフィールページの作成
- ・サイト内の検索機能
- ・コメント機能
- ・あなたへのおすすめ機能
- ・etc

大学生の時間を有効に使う アプリ

学籍番号



小林雅史

P.158

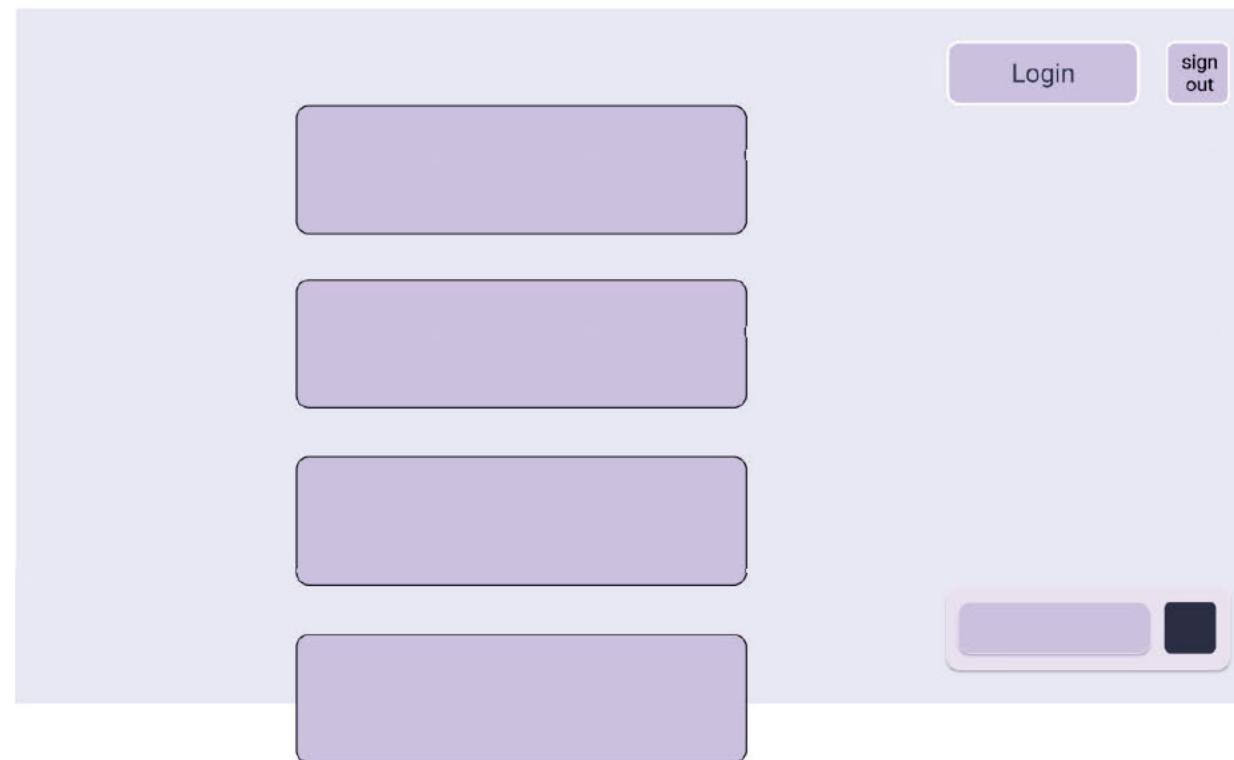
アプリ概要

- ログイン機能に基づいたマルチデバイス対応
- 24時間で消えるタスク管理
- Webアプリのためデバイスと問わず使うことができる

活動の概要

- 個人アプリ開発による大学の学びにとどまらないプログラミング技術向上
- アプリをプレリリース段階まで開発しテストユーザーで実験

アプリデザイン案



ユーザテスト(概要)

開発したアプリケーションを3人の被験者に対してテストを行った。

テスト内容としては、アプリを使用する前と後でどのように一日の使い方が変わったかといったアンケートをテスト後に行った。

ユーザテスト(結果)

三人の被験者は一週間アプリを使って生活を行ってもらった。

被験者 1

今までは頭の中で今日はこれをやれたらいいなと考えていたがアプリを使用することで整理することができたしかしながら結局自らの行動は変わらなかった。

ユーザテスト(結果)

被験者 2

アプリを使用することで24時間でタスクが消えてしまう焦りから最初はタスクをこなせるようになった。一週間もたつと消えるくらいなら自分で覚えようと思ってしまうこともあった。

ユーザテスト(結果)

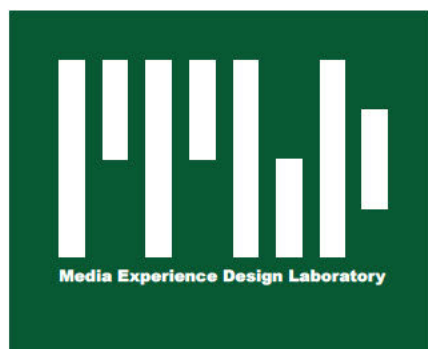
被験者3

- ・ アプリを使用する習慣がつき朝タスクを登録しそれを順番にこなしていく習慣がついた。しかしながら、朝それをさぼるともういいやとなりその一日は何もしなかった。

活動で得たこと

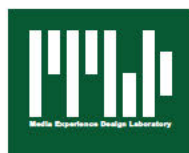
- WebアプリにはGoogleが提供するcloud fire base,salesforceが提供するHerokuなど様々なクラウドサービスを使用しており、大学の学びを超えた学びを得ることができた。
- 実際にテストしたことでユーザから使用感や今後直さないといけない場所を見つけられた。

画像解析による二酸化チタン表面の 酸素欠損の配列解析

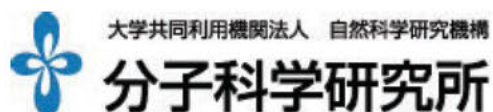


坪倉 奏太
立命館大学情報理工学部

共同研究者



野間春生



湊丈俊



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

日置尋久



国立大学法人
九州工業大学

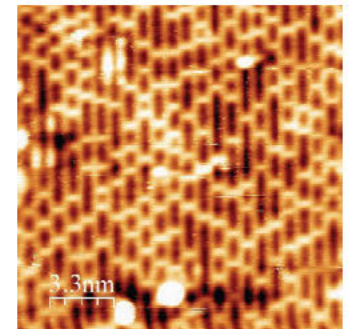
河野翔也

研究背景と目的(1/3)

研究背景

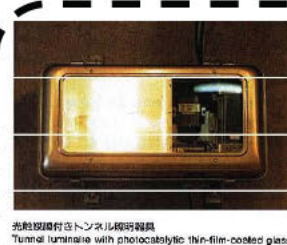
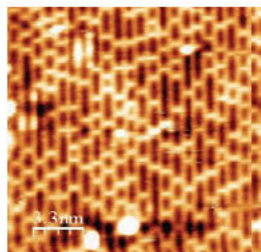
光触媒や着色料など広く応用されている**二酸化チタン**(TiO_2).
その機能は**表面酸素欠損の導入**により変化. [1]

酸素欠損…本来存在するべき TiO_2 の酸素原子が存在していない箇所.
走査型プローブ顕微鏡等で観測できる. 酸素欠損の位置傾向は TiO_2 の
機能に関係すると考えられる.



走査型プローブ顕微鏡で
得たトポグラフィック像の例
明るい列はチタン列, 暗い列
は酸素.

→ TiO_2 の機能発展には**酸素欠損の位置相関機構の解明**が不可欠.



光触媒膜付きトンネル照明器具
Tunnel luminaire with photocatalytic thin-film-coated glass



[1] Taketoshi Minato, Chem. Rec.,
14, 923-934 (2014).

<https://store.tfods.com/shop/g/g19536/>

<http://sts.kahaku.go.jp/sts/detail.php?no=100810121207&c=&y1=&y2=&id=&pref=&city=&org=&word=&p=191>



トポグラフィック像上
の酸素欠損の例. 酸素欠損は
このように明るい点として
観測される

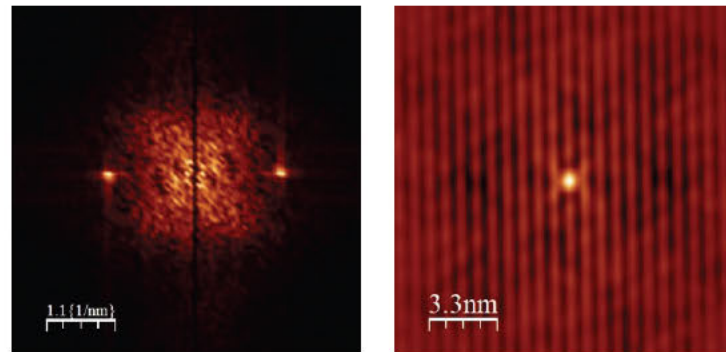
2

研究背景と目的(2/3)

研究背景

自己相関関数による方法など既存手法では位置相関機構の直観的な把握が難しい。

→今までTiO₂上酸素欠損の位置傾向を定量的に解析することは困難であった。また位置相関機構に関する予想を示すことも難しかった。



自己相関関数解析法や
フーリエ変換を適用した例

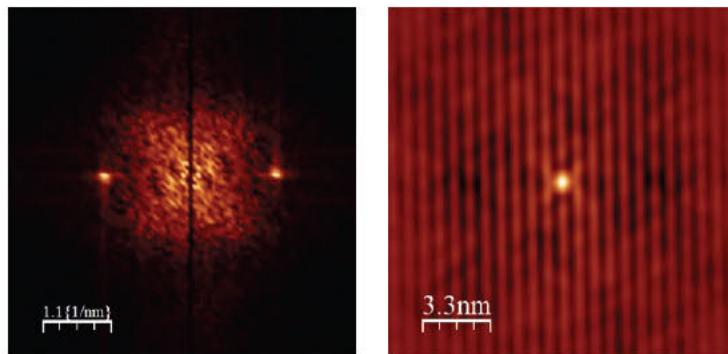


研究背景と目的(3/3)

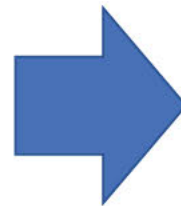
研究目的

→ **画像処理とデータ解析の手法**にて、既存手法では出来なかったTiO₂上酸素欠損の位置相関機構を直観的に把握できる方法を開発する。

また、その手法によりTiO₂上酸素欠損の位置相関機構を解析し、その特徴について分析する。



自己相関関数解析法や
フーリエ変換を適用した例



Many oxygen
vacancy are
in ...



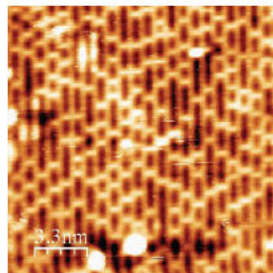
提案手法-概要

今回開発した手法

- 1.画像中の酸素欠損を認識する.
- 2.各酸素欠損どうしの位置関係を算出.
- 3.算出された点を統合, 位置関係を把握しやすくする.

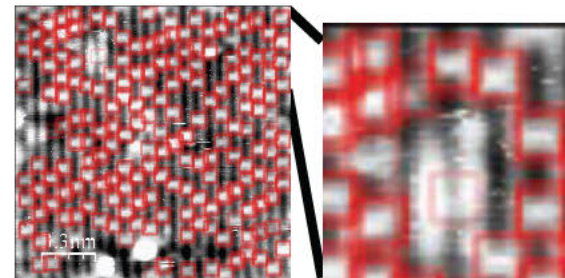
提案手法-1.画像中の酸素欠損の認識

対象画像の1画素ごとに画像解析技術で類似度を計算.



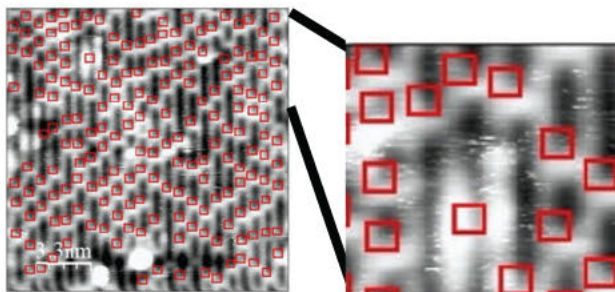
対象とする画像

試料採取条件
ルチル型TiO₂
試料に+1.5Vを印加,
トンネルモードにて採取.
縦は[001]方向,
横は[1-10]方向.



認識結果 重複している認識箇所が多い

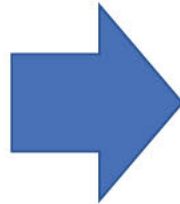
ただし, 同時に複数箇所を認識したい場合**重複が問題**となる
→一番最初にマッチしたものの以外を除外することで解決.



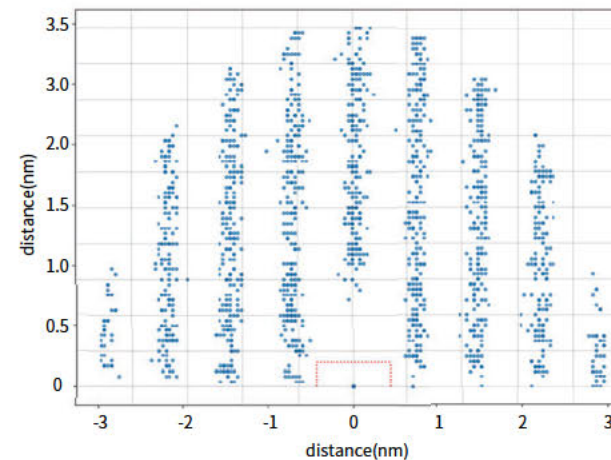
重複度を解消した結果

提案手法-2.位置関係を算出

各酸素欠損間でユークリッド距離と角度を計算することで位置関係を算出する.



各点間の距離と角度を算出し、散布図にプロット



ある酸素欠損から見て半径3nm以内にある酸素欠損との位置関係.

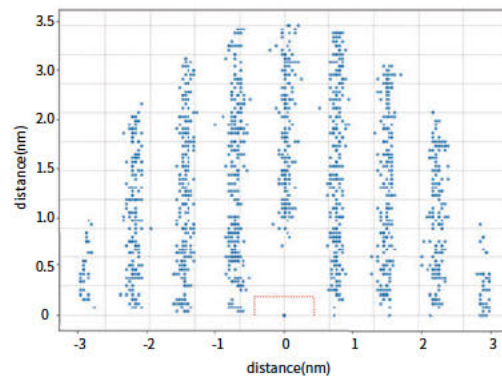
格子点は TiO_2 の酸素原子の位置

ただし、このままでは酸素欠損の位置傾向、特に存在傾向が十分には把握できない.

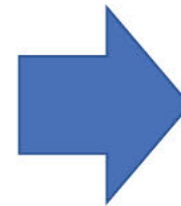
提案手法-3.算出された点をまとめる

プロットされた点をそれぞれ一番近くの格子点に集め、その重複度を図示する。

→ある酸素欠損からみた位置傾向及び存在傾向を直観的に把握することに成功



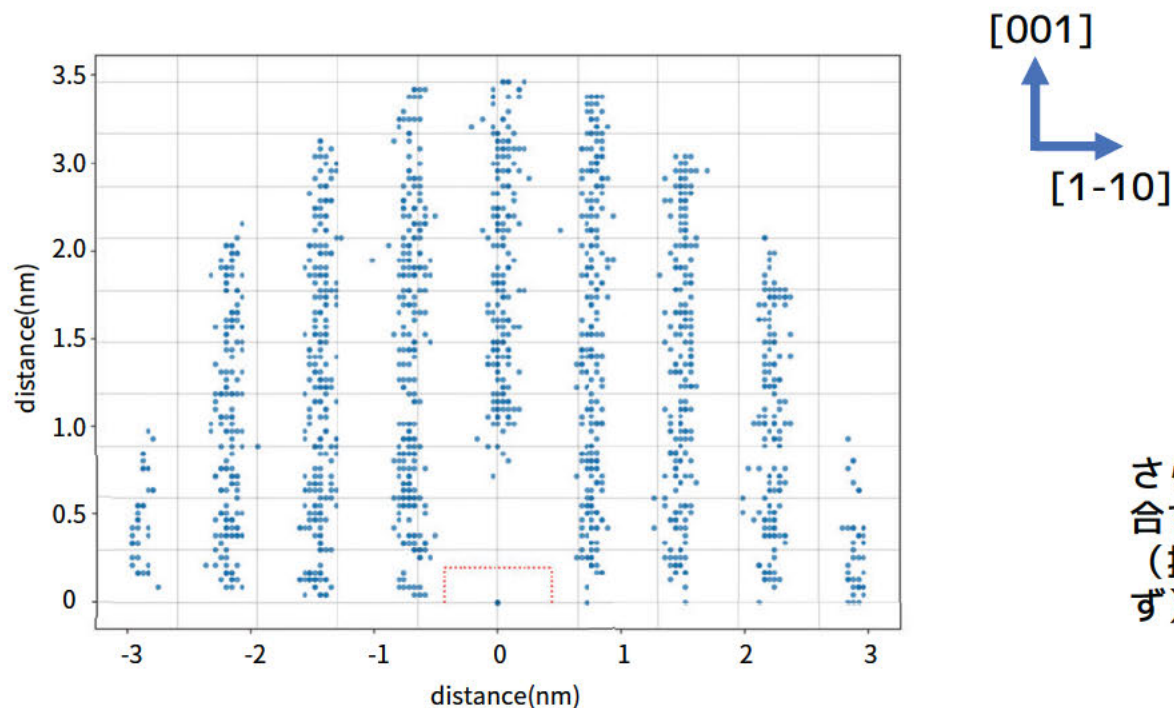
散布図



格子点上の位置
に算出された点
を統合

複数のトポグラフィック像から得られた結果を統合し、
 TiO_2 上酸素欠損の位置関係機構の性質を明らかにしていく。

解析結果



さらに格子点上の位置に算出された点を統合することで、配列傾向を明らかにした（投稿論文執筆中のため、結果は示さず）。

TiO₂の酸素欠損の配列傾向を原子レベルで**世界で初めて**明らかにすることが出来た！九州工業大学との共同研究で、第一原理計算を用いた更なる機構解析が進行中。

まとめと展望

まとめ

情報科学や画像処理の手法を用いることで、従来手法では困難であったTiO₂上酸素欠損の位置傾向の直観的把握をしやすくなった。

TiO₂上酸素欠損の位置傾向における特徴を原子レベルで初めて明らかにすることができた。

これらの成果は、2021年度中に国内学会1件、国際学会1件で発表した。現在、国際学術雑誌への投稿論文を準備中。

展望

解析の更なる高度化

異なる試料への展開

解析方法を他のデータ解析に応用

農業って面白い!

立命館大学
生命科学部 生命情報学科
3 回生
坪山智香

高度化支援
2021年度Challenge奨学金中間報告会



自己紹介



坪山 智香 ツボヤマ ちか

所属：立命館大学生命科学部生命情報学科 3回生

出身：大阪

好きなこと：美味しいものを食べること、
自然に触れること

将来の夢：半農半Xの暮らしがしたい！

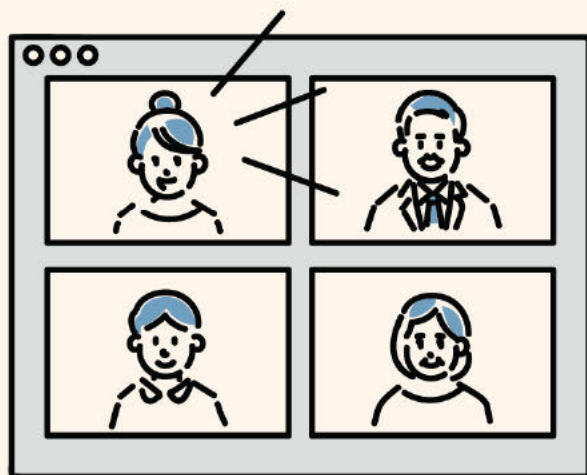
現在の悩み：半農半Xの「X」が決まらない…
やりたいことが多すぎる！



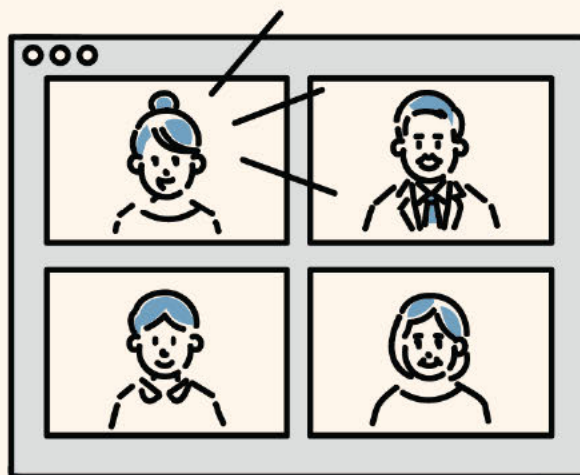
活動テーマ

若者が気軽に農業を実践することのできる
プラットフォームをつくる

1. オンラインで出会う



1.5 オンラインで交流



2. 対面で農業を実践





活動背景

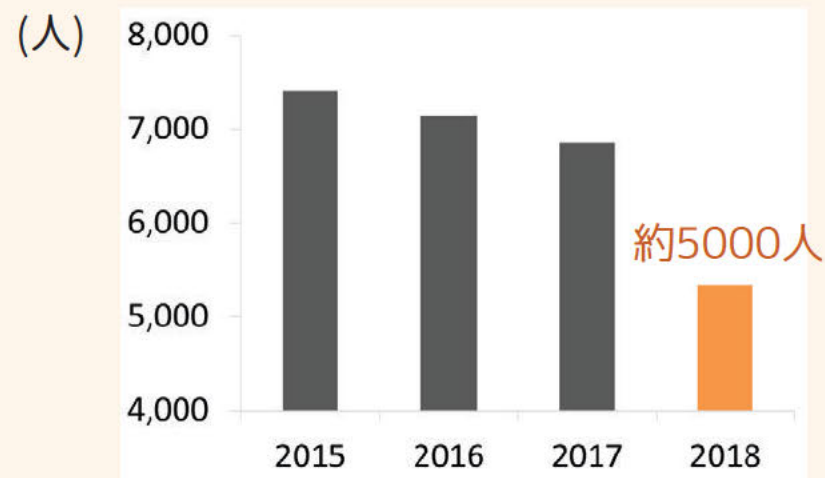
大好きな農業が衰退していく現状をなんとかしたい！



農家ってかっこいい！

自然と共存しながら
毎日汗水たらしながら
安全で美味しい物を届ける

なのに…



20代の新規就農者数の推移

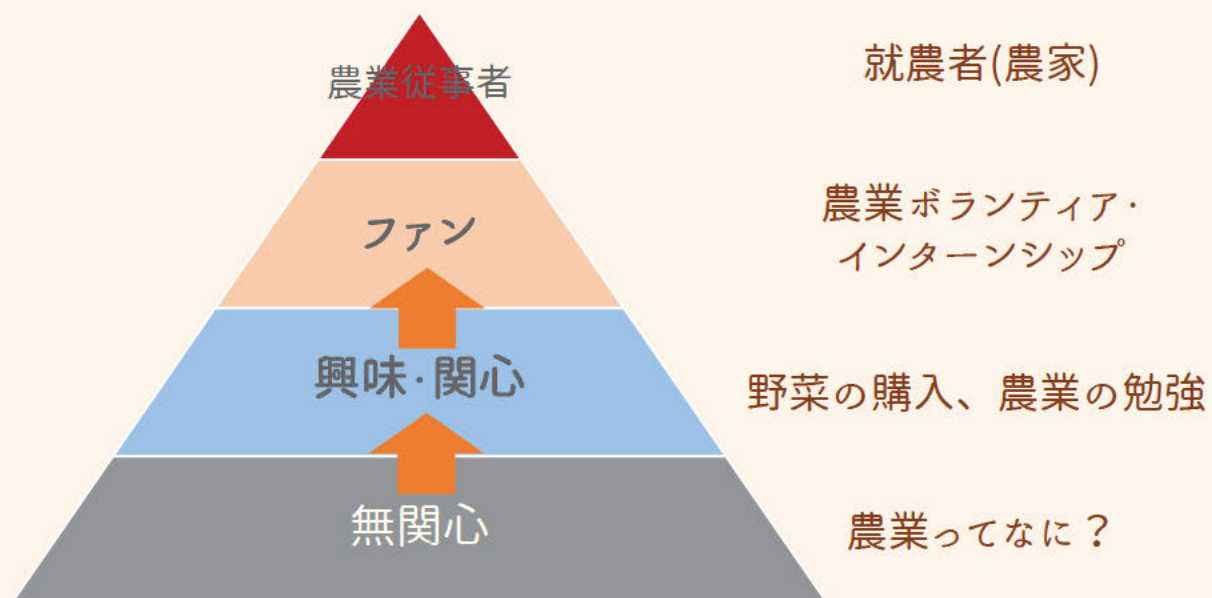
農業は少子高齢化…
衰退していく現状



活動目的

後継者不足改善へ繋がるきっかけづくり

農業を盛り上げたい！



- ① 農業関係人口を増やす
- ② 多くの若者に農業の魅力を届けたい



活動内容

気軽に農業に触れ、農業を身近なものにする

『ONLINE×FARMERS MARKET』

ONLINE×FARMERS MARKET
参加無料! 滋賀県高島市 南深清水
2/19(土) 10:00~11:00

- 1 自宅で気軽に
- 2 新鮮なお野菜、こだわり商品をお届け!
- 3 農家さんと楽しくお話ししよう!

タイムスケジュール
9:50 開場
10:00 開会・挨拶
10:10 企画説明
10:15 企画開始
10:35 閉会式
11:00 閉会

送料
近畿圏内:800円
近畿圏外:1000円
別途送料がかかります

申し込みフォーム
参加QRコードから
フォームを送信してください
(Peatixサイトへ移行します)

grow since 2020@gmail.com <http://grow.gsi.com/>

農家の想いや農業のこだわりを
実際に聞くことができる

オンラインのファーマーズマーケット空間

農語りBAR

農語りBAR
「農家・企業・学生」の3者が集い、それぞれの「農業」について自由にプレゼンテーションするイベント
お酒・おつまみを準備して、ゆるゆる楽しみましょう!

2022年1月22日(土) 20:00~22:00
@zoom

20:00~ イントロダクション
20:10~ 登壇者発表&質疑応答
21:00~ 交流会
21:50~ 挨拶・閉会

申し込みはこちらから →
特典なし: 無料
特典あり: 1500円 (先着5名)
(1月14日締め切り)

登壇者紹介【敬称略・順不同】

- 【農家部門】 西田雄一郎 西田ヤ 農家
- 【教授部門】 吉村 巳貴 立命館大学 食マネジメント学部 教授
- 【学生部門】 山内 瑞華 立命館大学 国際関係学部 Lápiz Private 代表
- 【企業部門】 小川 隆宏 IDEC株式会社 スーパーバイザー

農家や農業に携わっている様々な人が集い
職種・世代を越えて気軽に
語り合うことができる空間



活動の成果

「農業って面白い！」をたくさんの人に伝えた

合計 約250名の参加者と農家を繋ぐ

ONLINE×FARMERS MARKET 食の持続可能性研究室・稲作経営者会議・GROW (食マニエフト学部 吉積研究室)		
11/11(木)~11/14(日) オンデマンド配信		
食べ比べセット 滋賀県産こだわりお米8種類 食べ比べセットです。 内容量:2合×3パック 生産地:パッケージに記載 価格:¥980 お渡し場所:BJCC 受け取り日:11/18(木) ※詳細は後日連絡します	農家と交流 「農家と若者が気軽に繋がる」 たわのオンライン ファーマーズマーケット 農家から「作物へのこだわり・ 思い」を直接聞くことで あなたの「農業」への イメージが変わるかも しません。	You Tube 配信 (いつでも見られる！) 11/11(木)~11/14(日) YouTubeにて限定配信 上記のQRコードより ご覧いただけます。 商品は「BASE」で 購入が可能です。 ※商品の購入は 立命館大学関係者のみになります

立命館大学の授業内で
イベント開催も！

「農業はしんどいというイメージしかなかったが、

お話を聞いて**農業のイメージが変わった**」

「農家の話を聞いて、**農業って面白いと感じた**」

といった参加者からの声がたくさん！

中には実際に農家の元へ訪問した方、

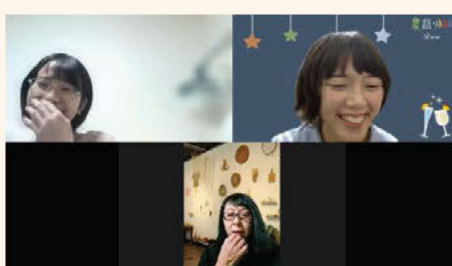
イベント後も交流を深めている方も！



今後の目標

「興味ある」から「やりたい」へ繋ぐ

①これまでのイベントを継続開催



コロナ
おさまって
(T-T)



② 現地へ行き、

実際に農業をする人を増やす

オンラインからオフラインへ

「農業って面白い！」を伝えていきたい

2021年度challenge奨学金 成果報告

麦わらストーリープロジェクト

生命科学部 4 回生

隅田 雪乃

活動テーマ

大麦の収穫時に発生する麦わらをもとに**麦わらストロー**を作成し、**処理予定だった麦わらを資源として地域で有効活用**する。



活動目的



①サーキュラー
エコノミーの促進



②廃棄予定だった
麦わらの有効活用



③地域の方との
交流の促進

活動内容

PJ立ち上げ

- ・ 学生集め
- ・ 企画考案
- ・ 環境学習



麦わらストロー製作

- ・ 大麦の収穫
- ・ 天日干し
- ・ カットと梱包



地域での活用

- ・ 商品化
- ・ イベント企画
- ・ 営業活動

活動の成果

大麦の収穫イベントの開催



協力：近江八幡
イカリファームさん



学内外問わず
約10名の学生が参加

活動の成果



大麦収穫



天日干し



大麦のカット

活動の成果

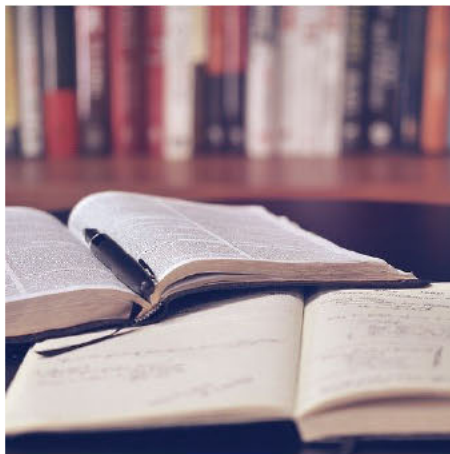
8月に梅雨の長雨が原因で生じた**赤カビ**の影響で、
今回収穫した麦わらはストローしての使用が不可に



麦わらを活用した商品販売や地域での活用を今季は**断念**

活動の成果

せっかくの本奨学金受給の機会をうまく活かしたい



CEや資源循環についての
書籍中心の学習



自分自身の知見を
深める機会として活用

周囲への還元

参加者の学生と一緒に
農家さんの生の声を聞き、
「**生産**」について
考えることができた

イカリファームの皆さんが
学生との交流に
意義を感じてくださった

今後について

本年度で大学を**卒業**・春に**就職**

資源循環や
気候変動の知見

いろんな立場の人たち
との共創の選択肢

農家さんの生の声



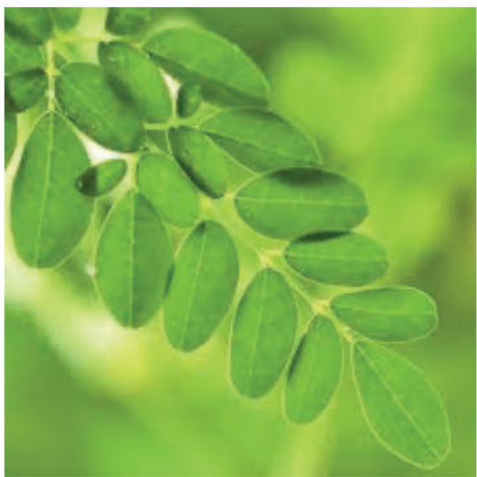
今回の学びを就職先の仕事で活かしていく

2021年度立命館大学 Challenge奨学金の成果報告

2022年03月18日(金)
川村幸生(立命館大学_薬学部)

活動テーマ

日本の医療問題を、**スーパーフード**の普及による人々のヘルスケア意識向上によって解決する



活動目的

- 大学生を中心にモリंगा、スーパーフードの認知を向上させる。
- モリंगा、スーパーフードの普及に向けた顧客ニーズを調査する。
- 大学の食堂等でスーパーフードの提供を実施すること。



活動内容

- モリンガクッキー(4枚入)の無料配布(200袋)
- モリンガ、健康意識に関するアンケート項目に回答
- アンケート結果についてSNSにて掲載。(今後実施)



活動の成果

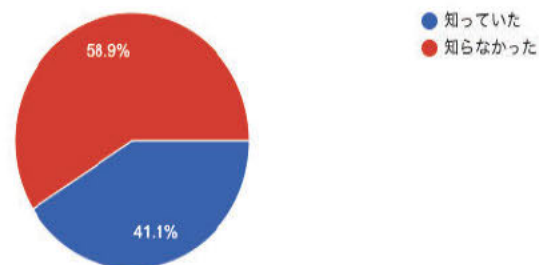
- 関東、関西のカフェ2店舗にて合計150袋のモリンガクッキー提供
- 56名の方がアンケートに回答いただいた



活動の成果

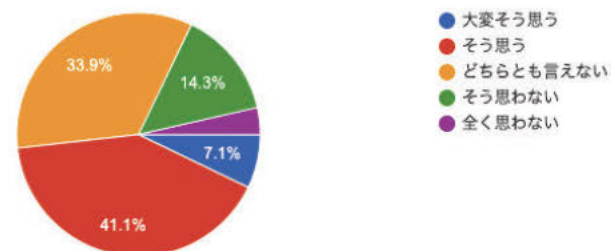
モリングについてご存知でしたか？

56 件の回答



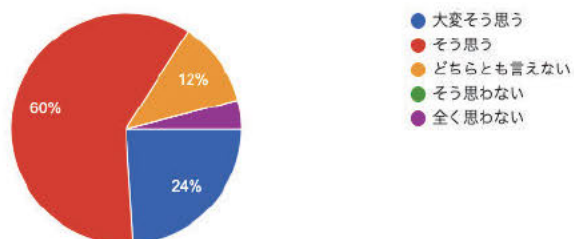
現在、健康的な食生活を送れていると考えますか？

56 件の回答



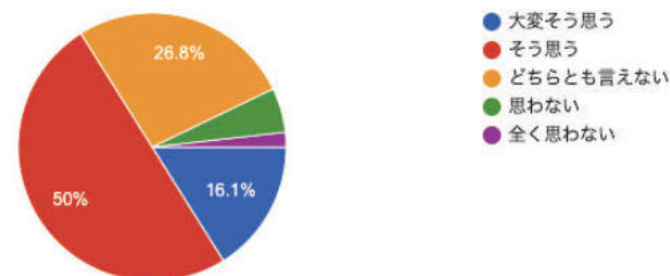
学生の方にお聞きします。大学の食堂等でモリングに関連した栄養価の高いメニューがあれば試してみたいと思いますか？

25 件の回答



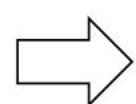
今後、モリングオートミールクッキーをまた食べたいと思いますか？

56 件の回答



今後の活動内容・ビジョン

■大学の食堂等でのスーパーフード関連メニューの販売



若い世代の健康意識向上

日本の医療課題を人々の**ヘルスリテラシー向上**により、解決する

【活動テーマ】

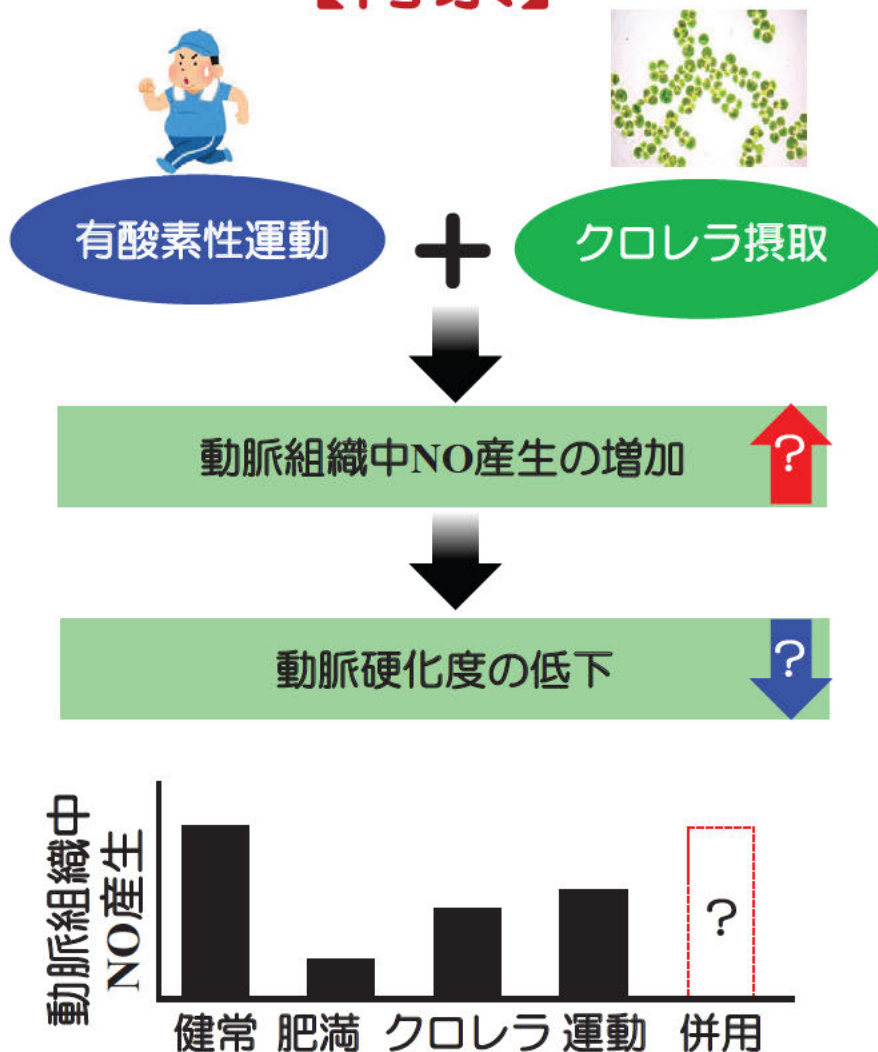
～研究活動～

第76回日本体力医学会における学会発表および国際学術雑誌に向けての追加実験

山崎エンヒ

【活動目的】

【背景】



【目的】

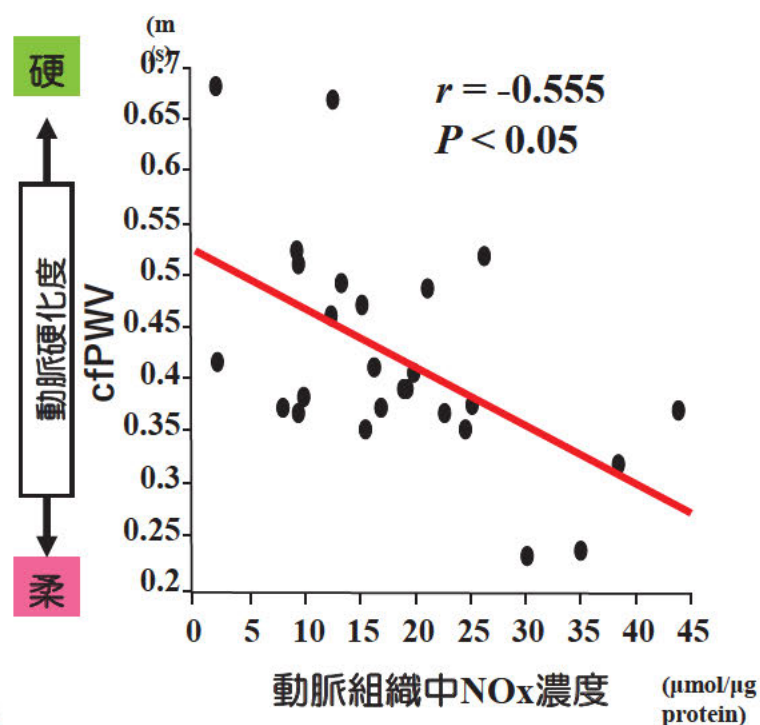
有酸素性トレーニングとクロレラ摂取の併用が動脈血管のNO産生の加算的な増加を介して動脈硬化度を低下させるかどうかを検討し、第76回日本体力医学学会において発表を行う。

【活動内容】

- 2021 1月月～3月 分子生物学的実験手法の獲得
- 2021 4月月～6月 論文調査・実験(本番検討)
- 2021 7月 第76回日本体力医学学会にむけての抄録作成
- 2021 8月 第76回日本体力医学学会に向けての発表用
 パワーポイントの作成・発表準備
- 2021 9月 第76回日本体力医学学会で発表
- 2021 10～現在 国際学会に向けて追加実験

【活動成果】

肥満ラットにおける 動脈組織中NO_x濃度とcfPWVの相関関係



動脈組織中NO_x濃度とcfPWVの間には
有意に負の相関関係が認められた。

【成果】

・活動して得たこと

抄録作成能力、パワーポイント作成能力、発表能力など、学会発表に限らず講義や就職した際にも重要となってくる能力が大幅に向上したと思う。また上記の情報収集力に加え、プレゼン能力が向上した。

・失敗から学んだこと

初めての抄録作成やパワーポイントの作成で、先生から殆どの箇所で修正を求められたことからどうすれば自分の研究をもってもらえるか、どうしたら見やすいスライドを作ることができるのかを意識するようになった。また、条件検討を繰り返したことで失敗を繰り返して成功を得ることができ、改めて感じることもできた。

【今後の活動内容】

- 2022 1月月～4月 NO(一酸化窒素)のリン酸化p-eNOSの測定・定量
- 2022 4月～5月 上記の結果を基に抄録、パワーポイント作成
- 2022 5月下旬 日本体力医学会で学会発表
- 2022 6月以降 NOが産生するにあたって活性化するp-Akt/PI3Kシグナル回路の測定。定量および英語での論文作成



RITSUMEIKAN

SPORTS

目標：3回生後期中に国際学会に参加する。遅くても4回生！

大学野球選手における選手と指導者の視点を統合した テーラーメイドパフォーマンス管理システムの独自開発

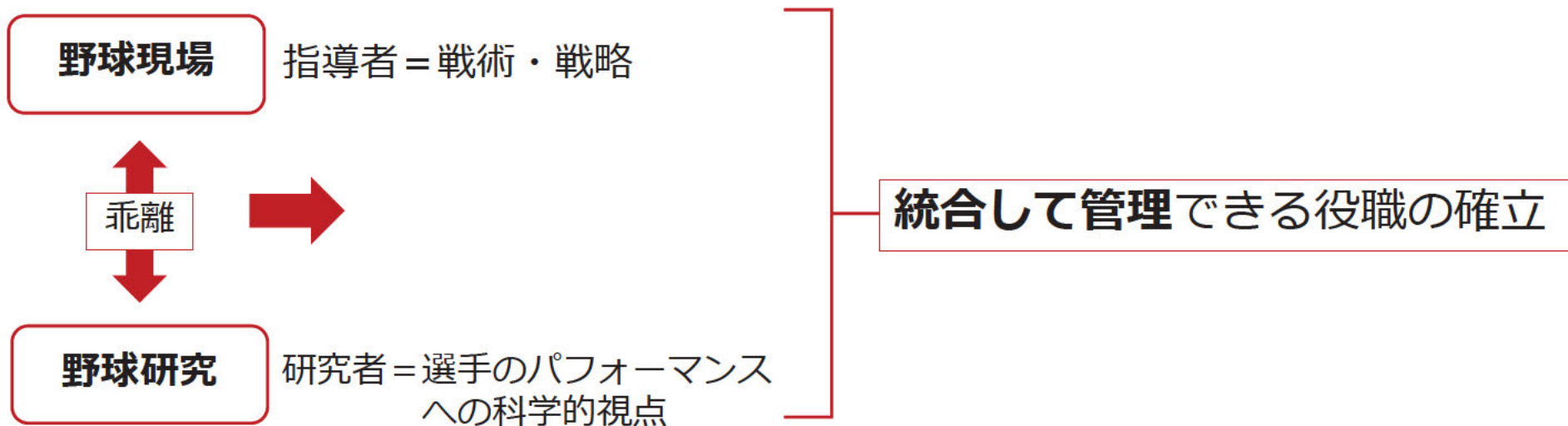
スポーツ健康科学部 3回生

田原 鷹優

目的

- ・ベースボールアナライザー…野球のデータを分析する役職。

日本野球界の現状



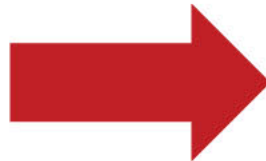
目的

アメリカ＝野球先進国

アメリカ野球界の現状

動作解析機器の導入が盛ん。

- トラッキングシステム
（トラックマン等）
- ラプソード
- BLAST



「全ての機器を駆使している」とは言いえない。

目的

日本の大学野球において、最適な方法を模索



大学野球の発展、ひいては野球全体の発展に寄与

個人としての最終目標

日本人初のメジャーリーグベースボールアナライザーを目指す。

活動内容

選手のパフォーマンス向上に
貢献するデータ分析・管理システムの独自開発

・対象者

立命館大学体育会硬式野球部、野手67名

(ケガ等により、測定項目のいずれかに参加不可能な選手を除く)

・使用機器

バットスイング速度評価機器 (BLAST : ミズノ社)

フィールドテスト測定機器

活動内容

・測定項目



<https://www.mizuno.jp/baseball/products/BLAST/>

活動内容

- ・フィールドテスト測定項目

身長・体重

握力

背筋力

長座体前屈

垂直跳び

メディシンボールスロー

10m走

前腕囲、腹囲、大腿囲、

ベンチプレス・クリーン・スクワットの1RM

活動内容

- ・ **公開予定**

学会発表（日本野球科学会）

論文投稿

Twitter公開

活動成果（成功）

- ・ **BLAST測定**

これまでのバットスイング測定とは異なった視点での計測。
さまざまな数値がある中でどの数値がどのように影響するのか吟味すること。

- ・ **フィールドテスト測定**

実施に関しての条件設定等、研究における考慮事項。
倫理書類の作成。

- ・ **Twitter公開**

多くの野球との交流。

活動成果（失敗）

- ・ **新型コロナ対策**

野球部自体が新型コロナのクラスター感染によって活動停止。



クラスター感染に対する対策が周到でなかった。
もっと様々な可能性を考慮する必要があった。

今後の活動予定



3月 : フィールドテストの測定結果をフィードバック

4月～8月 : 縦断的な計測を実施

11月 : 日本野球科学研究会学会発表

アスリートの競技力向上や人々の 健康増進に資する新規性の高い 低酸素トレーニングの考案

スポーツ健康科学部3回生
山口美優子

低酸素トレーニングとは

低酸素環境でトレーニングを行うことで通常酸素環境よりも短時間でより多くの刺激を呼吸循環系や筋活動に与えることができる

◆ 競技力向上

- ・ 全身持久力の向上
- ・ 無酸素性パワーの向上
- ・ 関節や筋肉への負担を軽減した上で呼吸循環系に十分な負荷を与えることができる
→怪我の予防

◆ 健康増進

- ・ 生活習慣病の予防・改善の効果
- ・ 体脂肪量の減少
- ・ 動脈硬化度の低下
- ・ 血糖値の低下

活動目的

低酸素トレーニングは一般的にはまだあまり普及していないという現状がある・・・

**低酸素環境下でトレーニングを行い、通常酸素環境下で
トレーニングを行った場合との違いを主観的・客観的に
評価することで効果を検討する**



科学的な根拠をもとに発信することで低酸素トレーニングを知ってもらい多くの場で活用されるきっかけになる

活動内容

- 活動場所

国内最大級の低酸素トレーニング施設
「ASICS Sports Complex TOKYO BAY」

- 対象者

400mを専門としている陸上競技部の選手 2 名



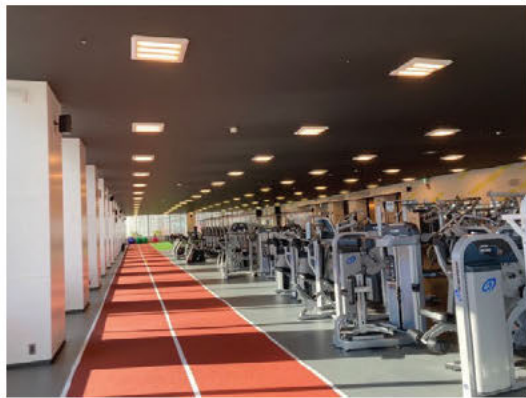
- 測定項目

- ・ 心拍数
- ・ 動脈血酸素飽和度
- ・ 血中乳酸濃度
- ・ 主観的運動強度
- ・ 筋酸素動態

- ✓ 陸上競技短距離選手の普段のトレーニングを低酸素環境下で実施
- ✓ 低酸素環境下で行ったトレーニングを通常酸素環境下でも別日に行い、各測定値の変化を比較する。

活動の様子

トレーニングルーム

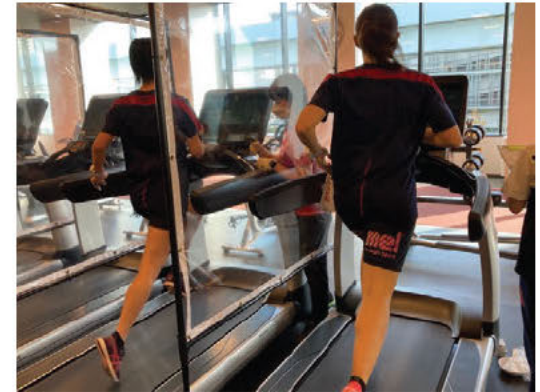


低酸素条件



通常酸素条件

トレーニング中



活動の成果・今後のビジョン

トレーニング実験の考察・結果

・低酸素環境下でトレーニングを行った場合は通常酸素環境下で同じトレーニングを行った場合と比較して、心拍数・血中乳酸濃度が大きく増加し、動脈血酸素飽和度は大きく低下する → **低酸素トレーニングの有効性を示すことができた**

- 今回はアスリートを対象にした競技力向上という観点で測定を行ったため、次回は測定項目を変え、健康増進のための低酸素トレーニングの有効性についても研究を進めていきたい
- 生活習慣病患者の増加や高齢化が進んでいる日本において、健康寿命を延ばす取り組みの一つとして健康増進に対する効果が大きいトレーニング方法として提案したい

活動を通して

○活動を通しての感想

活動全体を通して、実験に向けて段階的に準備を行っていく計画力や実行力をつけることができました。測定の流れや測定方法など事前にしっかりと準備を行っていたことで問題なくスムーズに進めることができたので、実験を行う際は事前準備を怠らないことが大切であると学びました。今回の取り組みにより、自分の専門分野である低酸素トレーニングについて知識を増やすことができました。この経験を活かし、今後の研究をより深いものにしていきたいです。また、今回の活動で身に付けた計画力や実行力を今後の学生生活や社会で活かしていきます。Challenge奨学金に応募したことで、自分がやりたかったことを実現することができ、非常に良い経験になりました。貴重な機会をいただきありがとうございました。

車いすでもカフェに行こう

京都のバリアフリーなカフェ・レストランの発見と情報の提供

経営学部 経営学科 1年 藤枝 樹亜



活動テーマ

「車いすでもカフェに行こう」

京都のバリアフリーなカフェ・レストランの発見と情報の提供



活動目的

- ・ 車いすユーザーが外出しやすい社会へ
- ・ バリアフリーなカフェ・レストランの発信
- ・ より多くの人に京都という土地を楽しんでもらう



活動内容

下半身不随で車いすに乗って生活している私自身が、京都の人気カフェやレストランに行ってバリアフリーかどうかを段差、多目的トイレなどいくつかの観点を設定して評価し、SNSやブログで発信する。



活動の成果

活動して得たこと

- わかりやすい記事の書き方
- 情報発信の知識
- 1人でプロジェクトを進める方法
/その限界
- 見てくれた人の声
- 周りを巻き込む力

失敗から学んだこと

- 1人でできることを多く見積もりすぎた
→自分が能力的にできないことだけではなく、時間的にできないこともほかの人に委託する



今後の活動内容や今後のビジョン

- **Noteでの発信を続ける**（それをFacebookのグループで流す）
- **Instagram, Youtubeでの発信**（現在素材だけある状態）
- 1度きりでなく**継続的に**プロジェクトに関わってくれる人を探す
- 現段階では京都のみに絞っているが、**各県・地域にアンバサダーを配置し**
て、全国のカフェ・レストランのバリアフリー情報をまとめて発信できる
サイトを作成する





カタノホシノコーラ
秋森 晃希

活動テーマ



・ コーラで地域活性化、まちおこしを展開する。

・ 交野市の新しいお土産の選択肢としてローカルクラフトコーラを作る。

・ 交野市の各飲食店とも連携し、提供して頂く。

・ 交野市内の飲食店でソフトドリンクを注文したらローカルコーラが出るという世界観の構築。



活動目的



・ 交野市には名産品と言える商品が少ない為、交野市のカフェとコラボし、近年注目を浴びているクラフトコーラ市場から更にニッチなローカルコーラの市場を創出、まちおこしや地域活性化などを旨ず。

・ 交野市産のコーラを開発し、地域活性に繋げる。

・ 素材にこだわることにより、健康促進にも繋げる。

・ 交野市に多く存在する空き農地を活用し、生姜などの原材料を栽培し、空き農地問題にも取り組みたいと考える。



「活動内容」



・新しいお土産として、素材にこだわったローカルコーラを地元飲食店等とタイアップしリリース。

・ローカルコーラでまちおこしという新たな市場を創出する。あわせて地域の持つ課題をコーラで解決する。

・コーラの親近感と地元（地域）をリンクさせ、祖母の実家があり個人的に親しみ深い街大阪府交野市でクラフトコーラから更に一步踏み込んだ「ローカルコーラ」を地元飲食店と共同開発し地域ブランドの創出、地元のコーラという新たなマーケットを作っていく。



活動成果



活動から得たコト

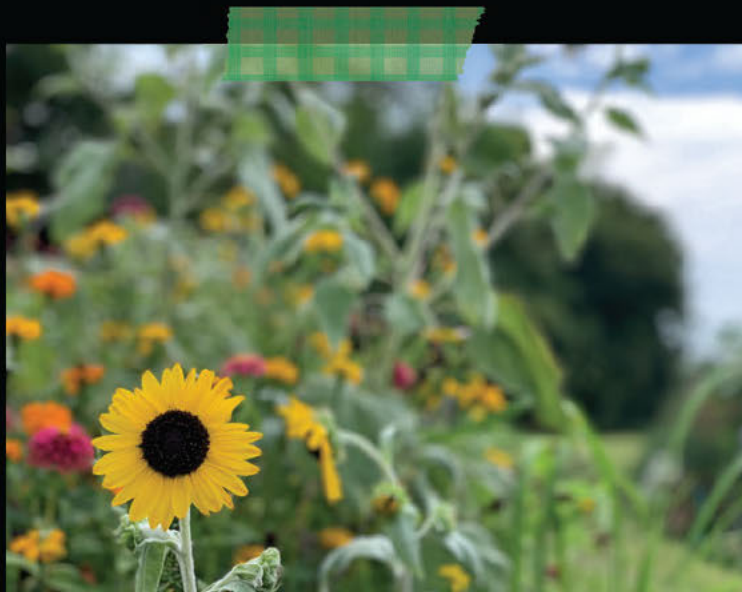
このプロジェクトを通じて熟考力・対応力が養えました。まだまだ確立していないマーケットの中で差別化を図り、トラブルに臨機応変にも対応しつつ「自分の色」を大切にしてきました。

失敗から学んだコト

・コミュニケーションの重要性に気づきました。当初予定していたクラウドファンディングが延期になり、双方にとって良い形は何か、何を目指しているかなど多くの会話を重ねました。



「今後について」



・まずは、交野市内での多店舗展開です。多くの店舗で展開すると自然と認知度が上がり、需要も増えます。多くの店舗でこのコーラを提供したいです。

次に、やはりクラウドファンディングの挑戦です。我々は、利益よりも情報発信やファンの獲得に期待しています。クラウドファンディングに成功すると製品化はもちろん、このコーラだけでなく交野市の知名度が上がります。



「さいごに」



私はこの奨学金にご採用いただき、資金面だけでなく精神面においても励みになりました。チャレンジ奨学金に採用されたんだ！という喜びや自信に繋がりました。自分のやりたいことを1からスタートする方や自分の活動を発展させたい方などにぴったりの奨学金制度で、まさに「チャレンジ奨学金」だなと感じました。

残りの学生生活もどんどんと挑戦して自分の肥やしにしていきたいです。

あ、カタノホシノコーラはクラフトコーラで1番美味しいと自信を持って言えるのでぜひご賞味ください！





TOEIC・TOEFLの初学者に対して、 短期間で効率的な学習を支援する

経営学部 経営学科 3回生

坂口 大晟

活動目的

目的

TOEICとTOEFLの試験に関し、昔の自分が知りたかった勉強法や教材・テストの形式などを昔の自分と同じ立場にある初学者に情報提供することが目的である。私は以前、YouTubeやGoogleのWebサイトを見て情報を得ようと試みたが、多くの人へ向けられた内容なので自分の状況に合わないことが多かった。特にTOEFLに関しては試験内容が難解であるため初学者に向けた内容がほとんど発信されていないという印象を受けた。TOEIC試験対策の団体は存在したが高得点者のためのものがほとんどであったため私は利用することが出来なかった。このような理由から、自学し初心者から試験についてある程度は分かるようになった自分だからこそ伝えられる情報を当試験の初学者に対し共有することが当活動の目的である。

活動内容

内容

SNSを利用してTOEIC・TOEFLの初学者を募集し、彼ら/彼女らに対して自分の実体験を含めた英語力の向上の仕方や勉強方法、教材やテストの 방식을伝える機会を提供する予定であったが、Twitterのアカウントはフォロワー450人を超えたものの、ZOOMでその会に来たいと言う人はいなかった。そのため、友人の友人や知り合いの知り合いなどに声をかけて貰い、英語学習に興味のある人に対して1対1で電話で貝和をするなどといった活動を行った。

活動成果

実際に活動して学んだこと

自分のやりたいことを構想から実現していく過程の難しさを身をもって感じた。この方法が正しいのか、最適であるのかを常に問い、初めにあったプランを変更していくことの大切さを学んだ。PDCAを回すことで徐々にできることが増え、目的に近づけると感じた。

社会的貢献

今回の活動がどのように周囲に影響を与えたか

まずは自分の関わったTOEIC、TOEFLの初学者に対してモチベーションとなったと感じている。自分の伝えた勉強方法や考え方が正しいのか正しくないのかは分からないが、英語が全くできなかった自分がここまで来た経緯を説明すると全員が自分もできるのでは、と感じてもらえた。それだけでも、今回の活動は周囲に影響を与え、貢献できたのではないかと問げる。

今後のビジョン

これから

今後は今ある繋がりをさらに深め、自分が関係している人の輪を広げていこうと考えている。そのような活動を続けることで、当初あったような勉強方法講座や学習者同士の交流会の場を設ける事も可能になると考えている。

ご清聴ありがとうございました

NoCodeを用いたサイト作成講座



経営学部 国際経営学科
川端 航平

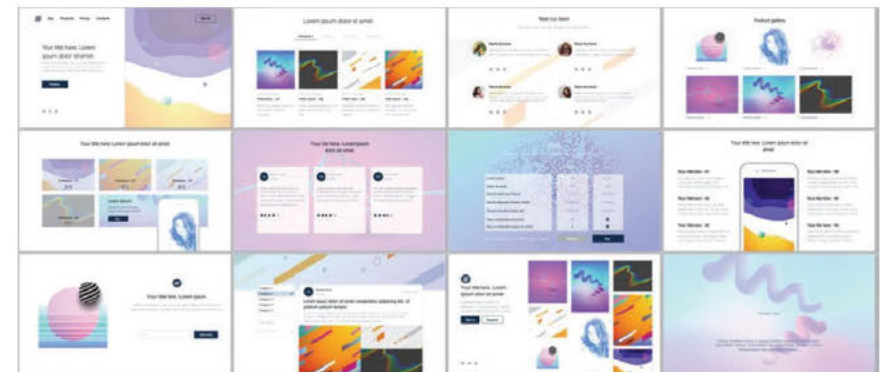
サイト作成を通して挑戦を支援する

人は目に見えるもの以外は疑う傾向が強い



WEBサイトがあるだけで…？

- サークルの活動イメージが湧く
- 事業内容を理解してもらいやすい
- イベントを認知させやすい
- 自己表現の幅が広がる



STUDIOを用いたサイト作成の講義

／ STUDIO

- 世界中の優れた新規サービスが掲載される「Product hunt」にて、日本のスタートアップ企業では初となる”世界1位”を獲得
- コードを書かずに簡単にWebサイトとして公開することが可能
- すでに国内でも政府機関に加え、多くの民間企業での導入が進む

講義実施例





ノーコード

設定変更による構築

アプリケーションを構築

- ページ、ロジック、DB
- ユーザーと権限
- セキュリティ
- AI などの機能



ローコード

視覚的にロジックを構築

機能を拡張

- 業務ロジックを構築
- 処理の自動化



プロコード

プログラミングによる構築

複雑な要件への対応

- 独自ページを作成
- 独自ロジックを構築
- インテグレーション

のべ200名を超える受講生への価値提供

〈ビジネスプラン〉



〈就活コミュニティ〉



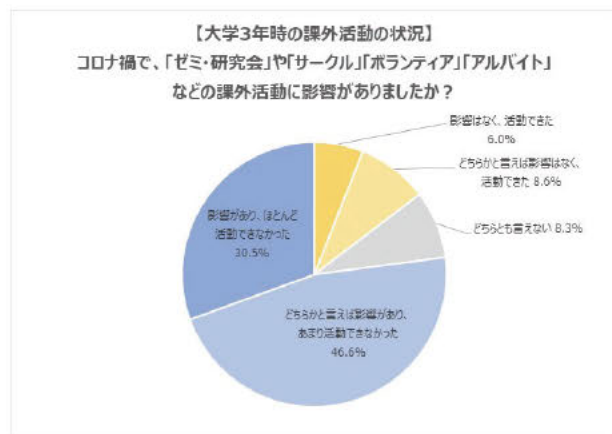
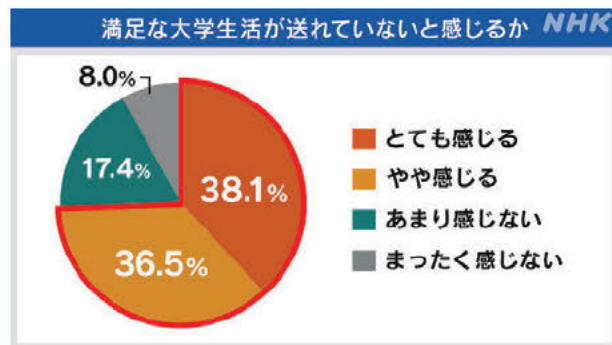
〈寄付サイト〉



〈就活支援団体〉



Withコロナでの新歓を支えていきたい



サークルや学生団体など、自分にあった学内でのコミュニティへ所属できるかは大学生生活の満足度へ直結する

新歓を通して、団体の雰囲気
を余すことなく伝え切る必要がある

オリジナリティあるWEBサイトの
作成が有効な解決策となる

成果報告会資料

立命館大学総合心理学部

■
壽福千尋

発表内容

- ①「活動テーマ」
- ②「活動目的」
- ③「活動内容」
- ④「活動の成果（活動して得たこと、失敗から学んだこと）」
- ⑤「今後の活動内容や今後のビジョン」

【活動テーマ】

「大学生の性教育」 避妊具コンドームの魅力を届け、正しい避妊・性感染症予防を改めて学ぼう！

【活動目的】

「避妊」や「性感染症予防」をより身近に、より楽しく学べる場をつくり、改めて大学生の性教育を学ぶ機会を生み出したい。コンドームや避妊手段をより詳しく学べる場を創出する。

【活動内容】

性に関する相談・問い合わせとして個人のSNSを開示

周囲の方から多くの相談の連絡をいただいた。専門家ではないため、提案という形で悩み相談に対応し、正規の相談機関や情報元を送るなど誤った内容で混乱を招かないよう心掛けた。

コンドームの品評会

様々な会社のコンドーム製品を用いて、多くの方と使いやすい・手に取りやすい製品はどれかを議論しあったり、それぞれ何が違うのかや自分に合うものを使うメリットと必要性を話したりと性に関心を持ち、避妊や避妊手段に詳しくなる機会を創出した。

【活動の成果（活動して得たこと、失敗から学んだこと）】

○学校に無料で生理用品を設置する活動も両立して行っていたため、活動へ割く労力が偏ってしまいがちであった。

→どちらも手を抜かずに、どうにか両立させるために活動内容を柔軟に変化させることを心掛けて取り組むようにした。

○「より身近に、より楽しく学べる場をつくり、改めて大学生の性教育を学ぶ機会を生み出したい」を本プロジェクトの目的としていたため、まずは自分の周囲の方に自分から正しい知識を発信し、頼ってもらえるような存在になろうと行動した。

→行動を継続した結果、多くの友人から相談を受けるようになり、自分の取り組みをアイデンティティ化させることが出来た。

【今後の活動内容や今後のビジョン】

- ・性についての情報や知識を共有するアカウントを運営
今後はこれまで多くの方から寄せられた相談内容や各社コンドーム製品への意見をもとに、SNSを通じて情報共有や発信活動。
- ・以前から従事している団体のソーシャルメディアにて、
性に関する情報の発信やイベントの開催。

Activity Summary Report

Ritsumeikan Challenge Scholarship



Daffa Afiz Habibbillah



Activity Theme

- Creating Semi-Fictional Illustrated Novel for The Younger Generation on the Topic of Climate Change, Sustainable Development Goals, Environmental Issues and Opportunities, and Healthy Ecosystem in Indonesia



Purpose of the activity

- The series of illustrated science fiction novel aims to empower the younger generation to be a courageous leaders by voicing their opinions to fight against the unsustainable and unjust development that destroy the environment and affect the indigenous communities.
- The novel also seeks to introduce the younger generation to understand more about the United Nation Sustainable Development Goals through a more interactive and fun way and how to contribute in succeeding the program and live sustainably

Contents of the activity

- The story tells an adventurous journey of young siblings (see picture) who are also a part of an indigenous community, who will try voicing their concerns about the environmental destruction happening in their land and start their heroic journey to fight against the unsustainable and unjust development by inviting other people to join the movement and implement the United Nation's 17 goals in everyday life.

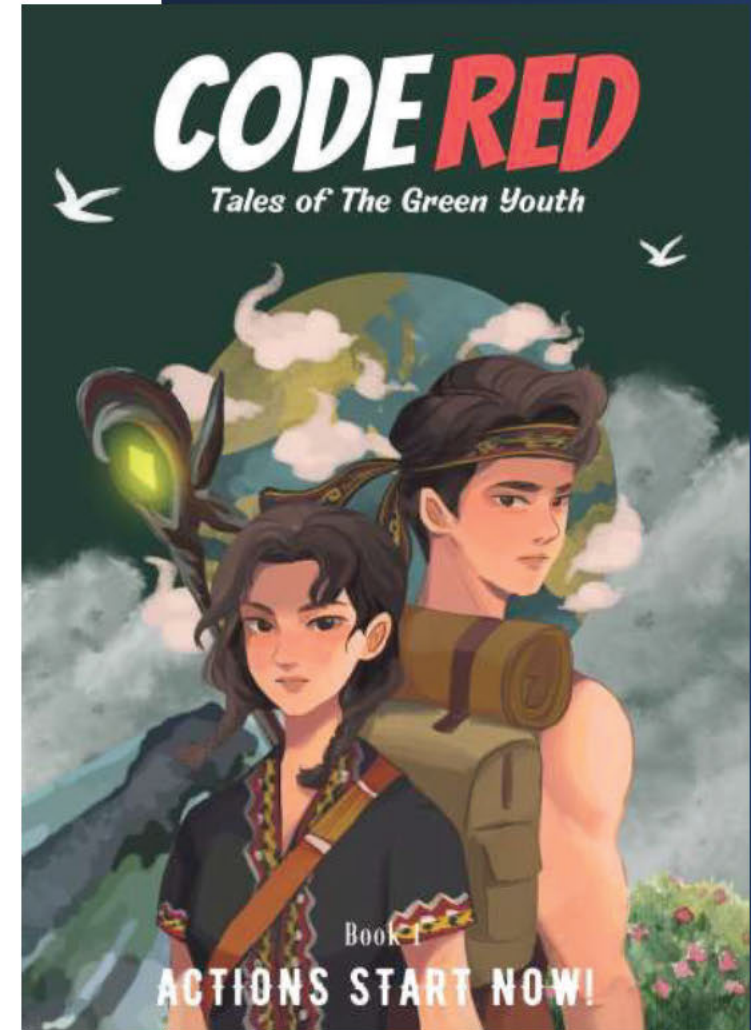


Results of the activity

- Currently I have finished writing the book (103 pages) excluding the illustration
- There are 9 chapters discussed in the book, which are mainly introducing the reader to the world or universe and the main characters I am creating and also environmental issues in Borneo, Indonesia
- **UN SDGs discussed in the Book 1 :**
 1. Zero Hunger (No. 2): Community gardens (self-produced food), organic food, composting
 2. Gender Equality (No.5): Housework chores, cooking is for both gender, all humans have feelings and can express all feelings when they are sad, teach children to respect each other regardless of the gender
 3. Responsible Consumption & Production (No.12) : Reduce the use of plastic, recycle plastic waste and others, composting, don't throw garbage into nature, invite relatives or family to use environmentally friendly products and reduce food waste
 4. Climate Action (No.13) : Formed a forest monitoring team to protect the forest (inspired by the Dayak tribe in Borneo), consider the forest as a sacred and important place for life
 5. Life on Land (No. 15) : Sustainable ecosystems, sustainably managed forest, forest mapping
 6. Partnerships for the Goals (No. 17) : Collaborational work, multi-stakeholder partnerships
 7. Promote peaceful and Inclusive societies (No. 16) : Respect each other regardless of the age, gender, tribes etc.

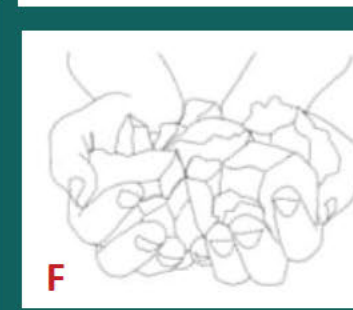
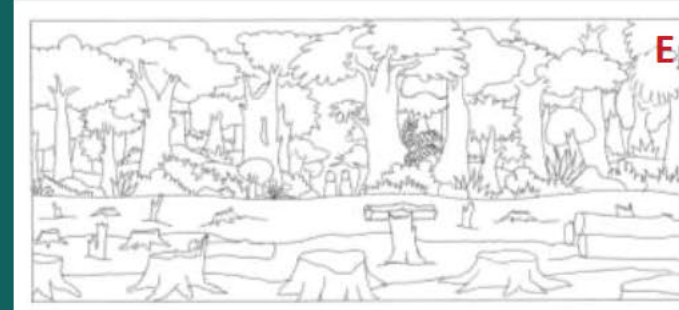
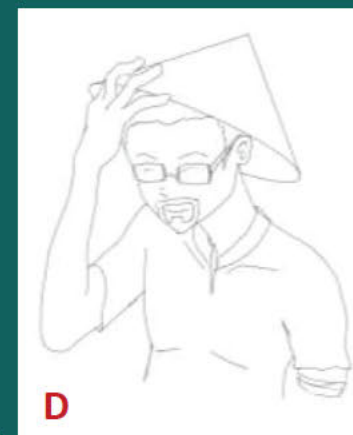
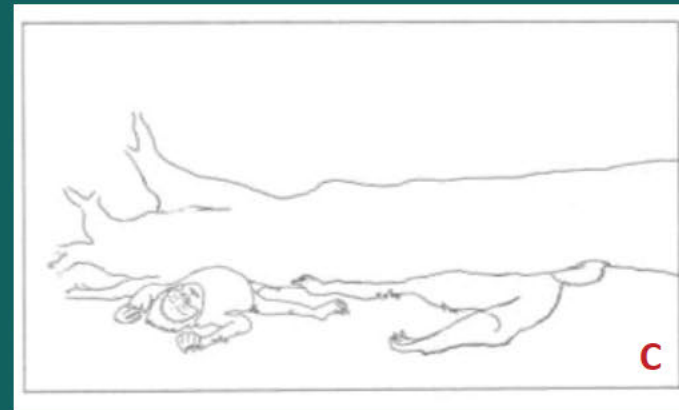
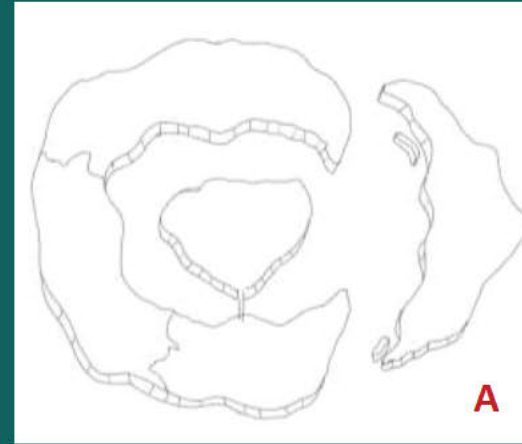
Book 1

- The novel series titled “**CODE RED**”, taken from the IPCC report 2021 stated that the rate of global warming is likely to lead to more frequent and widespread extreme weather events that put humanity and nature at higher risk. Therefore, real actions must be taken by all people around the world to fight against the climate change, unsustainable development and live sustainably
- The cover page of the first series or book 1 is titled “Actions Start Now!”
- It will covers issues in the first land (the plant bender land named Varuna; inspired by Borneo island Indonesia, thus it will unveils environmental issues there)



Examples of The Illustrations I Have Drawn by Procreate

- **A** (Maps of Oditi [the fictional land inspired by Indonesia])
- **B** (The family picture of main characters)
- **C** (Dead Orangutan due to deforestation)
- **D** (Father of 2 main characters who got amputated due to the fight defending their land from coal mining development)
- **E** (Deforestation)
- **F** (Coal)



Limitations



I planned to get help from an illustrator to finish the illustration quickly and perfectly. However, due to limitation in funding, I decided to draw by myself since I have quite a talent in arts, but it resulted in the time delay since there is a lot to draw and at the same time finishing the book writing



1 illustration from the illustrator cost around 4000 yen and I have more than 20 illustrations, therefore, I only asked him to help me with my cover



Due to the hectic fourth year classes, assignments and research, it turned out to be a lot tougher to finish this project at the very beginning of 2022



Future activities and vision for the future

- Continue drawing the illustration and developing the website until April 2022
- Finishing the first book in around April or May 2022 (in the Indonesian language first and then followed by the English version)
- Getting more exposure with the help of Paradisi (APU University's Environmental Organization)
- Start writing the second book in around spring semester 2022

Others

- Paradisi has published an introduction of this project in their instagram page through video and also a brief introduction of the author, myself, link provided below:

https://www.instagram.com/reel/CYv50FpDVYf/?utm_source=ig_web_copy_link

Promotion of people's pro-environmental behavior towards plastic waste problem: A case of Yodo river, Osaka

立命館大学 政策科学部

GUOJINGYAO

Table of contents



Background



Past efforts



Research Method



Results



Conclusion

Background

- **Current Situation**

- Japan: Around 12.7 million tons of plastic waste end up in the ocean every year around the world, and 60,000 tons of them are coming from Japan (2019)
- Osaka: Around 80% of floating waste in the sea near Osaka bay is plastic waste
- Yodo river: Around 69.1% of plastic waste is coming from Yodo river system

- **Bad effect**

- Damage on the marine ecosystem near the Osaka bay
- Micro-plastics
- Aggravate the economic losses of Osaka's agriculture and fishery
- Reduce the income of tourism industry, affect national economy

Past efforts

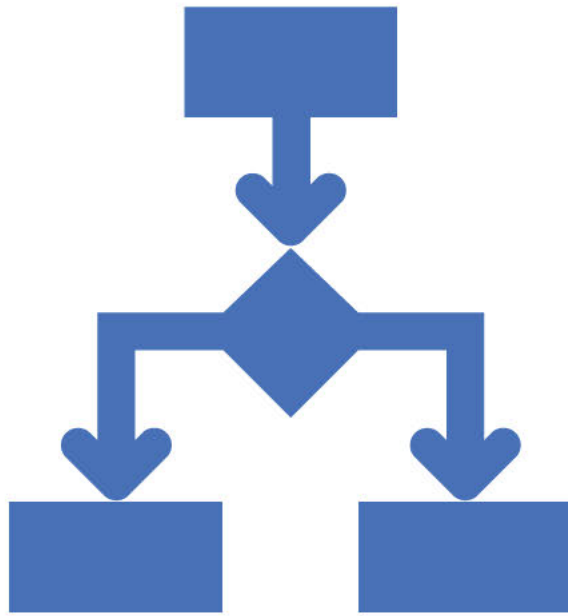
Kansai regional
alliance: “My bag”
movement

Beverage related
industry & chain
stores: recycling box

Resident organizations
& NGO: Cleaning
activities near Yodo
river system

Resource: Report of the workshop on measures
against Biwa lake and Yodo river.(2019)

Need cooperation



Research objectives

- Main question: Effective way to promote people's pro-environmental behavior by comparing The Place Attachment model and Theory of Planned Behavior model
- Sub-question: Find determinants that affect more people's pro-environmental behavior in each model
- Policy suggestions

Research Method

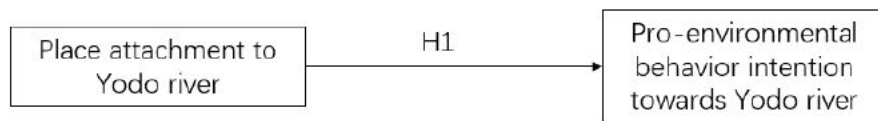


Figure 1: The place attachment model with variables

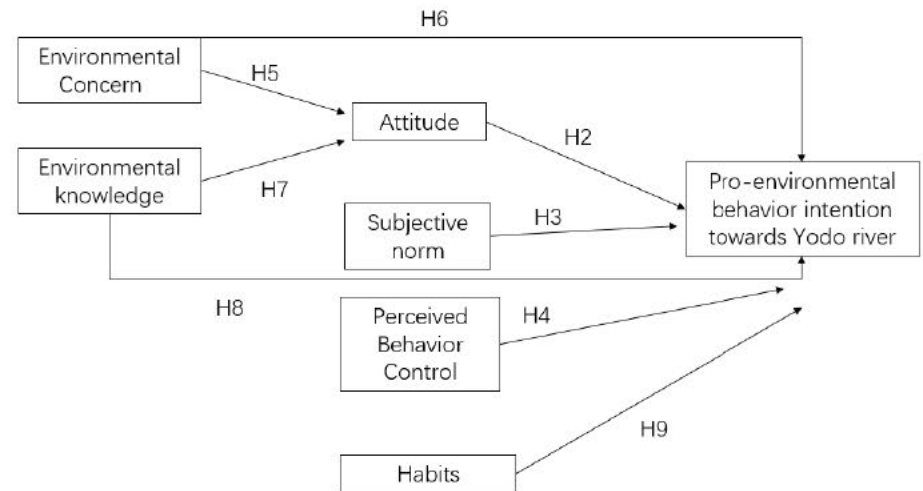


Figure 2: TPB model with variables



Research method

- Data collecting: Questionnaire survey conducted in a class at Ritsumeikan University
- Sample size: 360 samples
- Data analyzing: The structural equation modeling has been applied to test the models in R Studio

Results

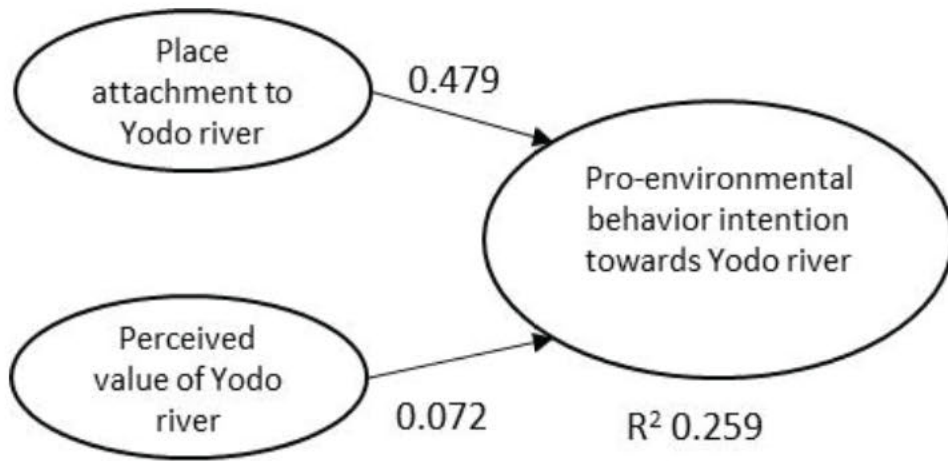


Figure 3: The place attachment model

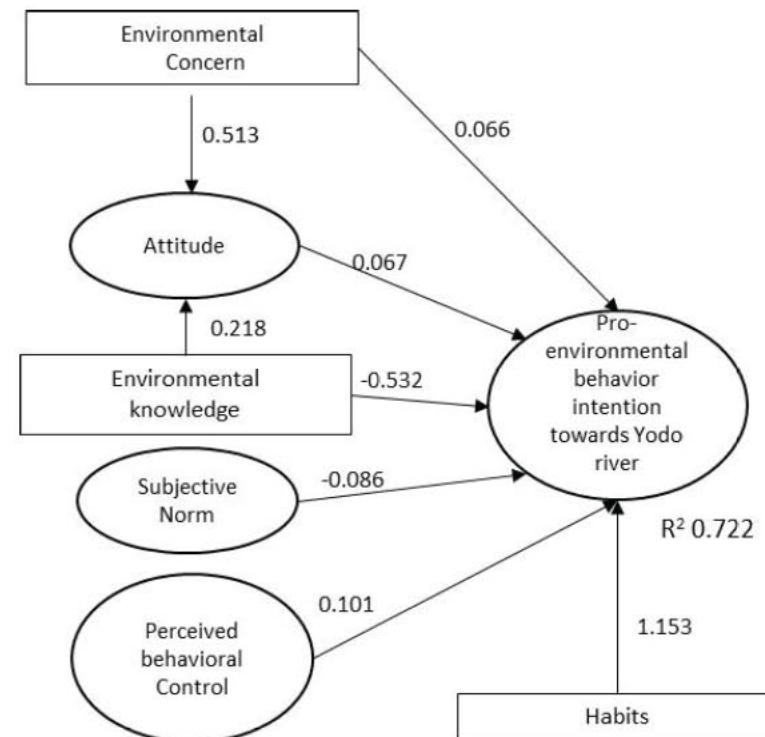


Figure 4: The TPB model

Discussion and conclusion

- Better model: TPB model
- Habits: Difficult to change
- Policy recommendation:
 - Increase media promotion (Attachment)
 - Hold events connecting people to Yodo River: community networking activities, cleaning activities etc. (Attachment)
 - Completing fundamental construction and providing more opportunities (TPB: Perceived Behavioral Control)

References

- Schlüter, Maja, et al. "A framework for mapping and comparing behavioural theories in models of social-ecological systems." *Ecol. Econ.* 131 (2017): 21-35.
- Study group for Lake Biwa and Yodo River (2019) Report of the workshop on measures against Biwa lake and Yodo river.
- Osaka Prefecture Government (2019) Homepage. Retrieved 10 November, 2020 from: <http://www.pref.osaka.lg.jp/index.html>
- Klöckner, C.A., 2013. A comprehensive model of the psychology of environmental behaviour—a meta-analysis. *Glob. Environ. Chang.* 23 (5), 1028–1038



G-houseフードバンク チャリティーイベント

グローバル教養学部2回生 福本もあ

活動テーマ

G-houseフードバンクチャリティーイベント開催

『コロナ禍の中でも、私たち学生に何か出来ることはないか？』



What is Food Bank Charity Event? 活動目的のフードバンクチャリティーイベントとは?

包装の印字ミスや賞味期限が近いなど、食品の品質には問題ないが、通常の販売が困難な食品・食材を、NPOの寄付団体から福祉施設等へ無償提供するボランティア活動です。



簡単にお伝えすると、
**『余っている使う予定の無い、食材や生活物資を、必要
とする方へ直接お渡しする活動』**です。

”

活動内容

フードバンクチャリティーイベントは人を集め、調理をしなくても食料提供できる支援の方法の一つです。自宅に余っている未開封の食品や、生活雑貨などをNPO団体を通じて、必要としている人たちに届けるチャリティー活動を目的とし、コロナ禍においても、フードバンクを通じて人と人とのつながりが絶たれることの無い社会づくりを目指していこうという思いから、OIC国際寮でチャリティー活動を実施しました。



List of Donors

Item	Quantity	Expiry date (if applicable)	Date of Donation
Carry LEA	1	2023.01.31	2021.10.20
RFQ4 Mask	20	N/A	"
Soap	3	N/A	"
Mask	1		
File	1		
dust blower	1		
coffee	5		
Shampoo	2		
laundry soap	9		
Rice	2		
CUP NOODLES	1		2021.10.21
MASK	1		"
WET TISSUE	1		"
Pen	1		"
BODY SOAP	1		"
corn soup	1	2022.3	2021.10.22
container	1		2021.10.22
bar - rod	11		"
coffee	1	2021.4	"
paint brush	1		"
sewing kit	1		"
Facebody wipes	1		"
spoon	1		"
Card holder	1		2021.10.27
protein powder	4	2022.11	"
large bag	1		"

活動の成果（活動して得たこと）

- OIC国際寮生と協力してチャリティイベントを成し遂げることができた。
- フードバンクという身近にあるものでできる社会貢献活動を周知することができた。
- コロナ禍で、貧困層が増えたことによって、食べ物がより多くの人に必要とされている現状を知った。
- フードロスを防ぐきっかけを作れた。

失敗から学んだこと



**開催にあたってのチャ
リティイベント情報広
報が不十分だった**

snsをもっと活用すべき



**開催日が当初計画してい
たより遅れてしまった**



**フードバンクの重要さ
をもっと広報してい
くべきだった**

今後の活動 内容や今後の ビジョン

2月から1年間、オーストラリアに留学予定なので、今のところは今後の継続予定はありません。



物資提供のお願い

ご家庭で余っている
食品、生活用品の
提供をお願いします。

募集物資

食品 ※賞味期限1カ月以上のもの

- ・お米（玄米でも可）
- ・レトルト食品
- ・インスタント食品
- ・缶詰
- ・乾麺（パスタ、うどん、ラーメンなど）
- ・お菓子
- ・飲み物（アルコール類は不可）
- ・調味料（醤油、みりん、料理酒など）



生活用品 ※未使用品のもの



- ・生活消耗品
（ティッシュペーパー、トイレットペーパー、ラップなど）
- ・洗剤類（食器洗剤、洗濯洗剤など）
- ・石けん類（シャンプー、ボディソープ、ハンドソープなど）
- ・文房具（えんぴつ、消しゴム、ノートなど）
- ・衛生用品（消毒液、マスク、生理用品、紙おむつなど）



ご提供いただく物資については、以下の点についてご理解、ご協力をお願いします。

常温での保管のため、生鮮食品はご遠慮ください。
また、調理済みのもの、アルコール類は回収していません。



ご視聴ありがとうございました。